

2019 年度

カリキュラムマップ



聖和学園短期大学

『カリキュラムマップとは』

カリキュラムマップとは科目ごとに、それを履修することにより学生が何ができるようになるか到達目標をあげ、その到達目標が、「ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)」のどの項目を達成することになるかを明確に示したものです。

『カリキュラムマップの目的』

カリキュラムマップは個別科目における学習成果の意識化をはかり。「何ができるようになるか」を可視化することが目的です。

シラバスでは科目ごとに到達目標を掲げています。その到達目標が各学科のディプロマ・ポリシーとどう関連するのかを示してあります。

また、カリキュラムマップ(ダイジェスト)では、科目とディプロマ・ポリシーの関係を一覧にして、学科の科目全体を通してディプロマ・ポリシーの達成の過程が分かるようにしています。

このカリキュラムマップを見て、自分の履修する科目がどのような目標を掲げているのか、単位を習得することによってどのような能力が身につくのか、また卒業時に自分が身につける能力はどのように達成されるのかを意識して受講しましょう。

共通教育科目

『学習成果』

- 基礎的な学習スキルと幅広い教養を身につけ、社会生活にいかすことができる。
- 現代社会に対応できる総合的な判断力とコミュニケーション能力を有し、主体的行動をとることができる。
- 社会への貢献をめざして、自己啓発を続け、自他を慈しみ協働することができる。

【共通教育科目】

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
聖和総合教育（キャリア）	2	◎	◎			専任教員	7
聖和総合教育（保育）	2	◎	◎			専任教員	7
人間と仏教	2	○				鎌田文恵・鎌田清寛	7
文学入門	2	○				関根俊二	7
心理学入門	2	○				片岡彰	7
ボランティア論	2		○			緑川浩子	7
社会福祉概論	2	○				高橋達男	7
ライフデザイン総合	2		○			片岡彰	8
英語コミュニケーション	2		○			川辺博	8
フランス語入門	2	○				ペラン・アレクサンドラ	8
韓国語入門	2	○				文慶喆・黄孝善	8
情報処理演習Ⅰ（キャリア）	1	○				張山裕江・杉本くみ子・鎌田清寛	8
情報処理演習Ⅱ（キャリア）	1		○			張山裕江・杉本くみ子・鎌田清寛	8
情報処理演習Ⅰ（保育）	1	○				阿部よし江	8
情報処理演習Ⅱ（保育）	1		○			阿部よし江	8
海外文化研修	2		集中		集中	吉田正・小野真喜子	9
暮らしの中の憲法	2				○	米谷光正	9
経済のしくみ	2			○		衛藤総一	9
暮らしと科学	2				○	丸山穰	9
環境と自然	2			○		佐場野裕	9
体育理論	1			○		金野麻衣	9
健康スポーツ	1			○		金野麻衣	9

【共通教育科目】

ディプロマ・ポリシー	1. 〈知識・理解〉職業人として必要とされる幅広い教養と専門的知識や技能を身につけている。
	2. 〈思考・判断〉課題を自ら発見し、その解決に向けて考察することができる。
	3. 〈関心・意欲〉常に学び続け、身につけた知識や技能をいかして、地域社会に貢献しようとする意欲をもっている。
	4. 〈態度〉社会の一員としての自覚と責任をもち、多様な人と協働することができる。
	5. 〈技能・表現〉他者の考えを受けとめ、自分の考えを状況に応じた方法を用いて的確に表現することができる。

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
聖和総合教育 (キャリア)	2	◎	◎			専任教員	① コミュニケーション力の特性について学び、自身の能力を高めていくことができる。						○	
							② 建学の精神と地域の特性を理解し、それを踏まえた社会貢献ができる主体性・自主性を伸ばすための努力ができる。						○	
							③ 自身の特徴を理解し、二次次・卒業後の方向性について検討し、進路選択を明確にするための道筋を明らかにすることができる。		○					
聖和総合教育 (保育)	2	◎	◎			専任教員	① 学問を通じて幅広い知識や教養を身につけ、物事を主体的、総合的に判断できる思考力を培い、社会生活にいかすことができる。			○	○	○		
							② 建学の精神に基づき日本人の心と文化を支えている「慈悲」「和」等の仏教の精神を学び、自他を慈しみ協働することができる。				○			○
							③ 「社会に貢献していく生き方」について考え、自己啓発を続けることができる。		○	○				○
							④ コミュニケーション能力を高めると共に、社会人としてマナーや人間性豊かな保育者としての基礎を形成し、実践につなげることができる。			○	○			○
人間と仏教	2	○				鎌田文恵・ 鎌田清寛	① 仏教を身近にあるものとして理解を深め、活用できる	○			○	○		
							② 仏教における諸行事、特に降誕会・成道会・涅槃会について理解し概要を説明できる	○					○	
							③ 仏教の基本的な教えについて理解し概要を説明できる		○	○				○
							④ 日本における仏教の代表的な十三宗派について全体的に理解し、概要を説明できる							○
文学入門	2	○				関根俊二	① 多様な文学作品について知識をもち、説明することができる。	○						
							② 深く自由に作品を読み込む方法を把握し、説明することができる。		○					
							③ 文学作品を通して自身の考察力をとらえなおし、説明することができる。							○
心理学入門	2	○				片岡彰	① 経験科学としての心理学誕生の歴史について説明できる。	○	○					
							② 経験科学としての心理学の対象となる心について説明できる。	○	○				○	
							③ 人間の心というものを科学的にとらえる方法について説明できる。	○	○	○	○	○		
							④ 人間の心のメカニズムとその特徴について説明できる。			○	○		○	
ボランティア論	2	○				緑川浩子	① ボランティアの意義を理解し、必要性を説明できる。		○					
							② ボランティア活動が担う社会的役割を理解し、重要性を説明できる。					○		
							③ 分野別ボランティア活動の基礎知識を理解し、実際の現場で活用できる。							○
社会福祉概論	2	○				高橋達男	① 社会福祉の基本的な仕組みを説明することができ、社会保障などのあり方を論ずることができる	○	○	○			○	
							② 社会福祉専門職者としての専門性と資質を述べることができ、自らの社会福祉援助観を講ずることができる	○	○	○			○	
							③ 人権擁護の視点や職業倫理を獲得し、社会福祉を実践することができる	○				○	○	

共通教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
ライフデザイン総合	2		○			片岡彰	① ライフデザインがなぜ重要であるかを説明できる。	○	○					
							② ライフデザインには多様な選択肢があることを理解し、自分の人生にてらし合わせるができる。	○	○					
							③ 人間として働くことの意味について理解を深め、自分のライフデザインに当てはめることができる。	○	○					
							④ 自分の人生を自分で選ぶことを日本国憲法が保障していることを理解し、活用できる。	○	○					
							⑤ 人間として働くことに意味を保障するために労働基準法があることを理解し、活用できる。	○	○					
							⑥ ライフデザインにとって言語力、コミュニケーション能力が大切であること理解し、自分のライフデザインに生かすことができる。	○	○	○	○	○		
							⑦ 豊かなライフデザインのために自分と社会に向き合い、自己理解を深める方法を理解し、ライフデザインに生かすことができる。	○	○	○	○	○		
英語コミュニケーション	2		○			川辺博	① 英会話の基本表現を理解し、使うことができる。	○						
							② 英語で質問したり、自分のことを英語で説明できる。							○
							③ 英語学習をとおして異文化や外国語全般への関心を深める。						○	
フランス語入門	2	○				ペラン・アレク サンドラ	① フランス語で初歩的な日常会話ができる。			○		○		
							② フランスおよびフランス語圏文化について説明できる。				○	○		
							③ フランス語での自己表現や対話を通じ、フランス語でコミュニケーションがとれる。					○	○	
韓国語入門	2	○				文慶喆・ 黄孝善	① 韓国語のハングル文字が書ける。	○						
							② 韓国語のハングル文字が読める。	○						
							③ 韓国語で基本的な挨拶ができる。	○						
							④ 韓国語の基本文型を理解し自己紹介等ができる。	○			○	○		
							⑤ 韓国語を通じたコミュニケーションをとることができる。	○		○	○	○		
情報処理演習Ⅰ (キャリア)	1	○				張山裕江・ 杉本くみ子・ 鎌田清寛	① パソコン使ってドキュメントを作成し、そのファイル管理ができる。	○						
							② ワードプロソフトウェア (Word) の基本操作を習得し、見やすいビジネス文書を作成できる。	○	○					
							③ 表計算ソフトウェア (Excel) の基本操作を習得し、表やグラフを効率的に作成できる。	○	○					
							④ 図表やグラフ等、情報を的確な方法で表現できる。						○	
情報処理演習Ⅱ (キャリア)	1	○				張山裕江・ 杉本くみ子・ 鎌田清寛	① パソコンを実務レベルで使用できる。	○	○				○	
							② ワードプロソフトウェア (Word) の応用操作を習得し、表現力・説得力のある文書を作成できる。	○	○				○	
							③ 表計算ソフトウェア (Excel) の応用操作を習得し、的確なデータ収集・集計・分析ができる。	○	○				○	
情報処理演習Ⅰ (保育)	1	○				阿部よし江	① Windows の基本操作ができる。	○		○				
							② Word の基礎的操作を習得し、文書作成に応用できる。	○		○				
							③ インターネットを使っての情報検索、その活用ができる。	○			○			
							④ 自分の保育観を取り入れた文書作成ができる。	○	○		○	○		
							⑤ Word について習得した知識や技能を、保育の専門科目に活用し、文書作成を実践できる。	○	○	○	○	○		
情報処理演習Ⅱ (保育)	1	○				阿部よし江	① Word / Excel / PowerPoint の各種機能を理解し、その操作ができる。	○	○	○				
							② 教育実習の事前資料である、指導案作成の必要性を理解し、その内容を Word 機能を使用し作成できる。	○	○	○	○	○		
							③ スマホで記録した図工等の手作り作品の画像 (デジタルデータ) を保育実務に活用できる。	○		○		○		

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP 達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
海外文化研修	2		集中		集中	吉田正・小野真喜子	① 海外（渡航先）の文化や歴史について、探求心を持って計画することができる。	○	○			
							② 事前に調査・計画した研修内容を現地での行動を通して実践できる。	○	○			
							③ 日常会話程度の語学力を習得して現地で活用できる。	○		○	○	○
							④ 海外で生活するに際し、自己管理と危機管理能力を意識し行動することができる。		○			
暮らしの中の憲法	2				○	米谷光正	① 国家と憲法との関係を理解し、説明することができる。	○				
							② 憲法の意味を理解し、論じることができる。	○				
							③ 国民主権・平和主義・人権尊重主義を理解し、説明することができる。	○			○	
							④ 基本的人権について理解し、論じることができる。	○			○	
							⑤ 自由権や社会権について理解し、説明することができる。	○			○	
							⑥ 三権分立の意味が理解し、説明できる。	○				
							⑦ 地方自治の本質が理解し、説明できる。	○		○		
経済のしくみ	2				○	衛藤総一	① 市場のしくみを理解し説明できる。	○	○			
							② 市場経済における企業行動を理解し説明できる。	○	○			
							③ 政府の役割を理解し論じることができる。	○	○			
暮らしと科学	2				○	丸山穰	① 科学的思考方法を説明できる。	○	○			○
							② 普段の生活に科学が活用されていることを述べることができる。		○	○		
							③ 科学的な観察眼や論理的思考方法に基づき行動できる。	○	○			○
							④ 「疑似科学」を見分けられるようになる。		○			
環境と自然	2				○	佐場野裕	① 現代科学における物質観・宇宙観を理解し、概要を説明できる。	○				
							② 地球生態系としての自然環境を理解し、社会の在り方について討議できる。	○		○	○	
							③ 日常生活の中での科学技術に関する諸問題を考察し、説明できる。		○	○	○	
体育理論	1				○	金野麻衣	① 体育理論の様々な科学的知識を理解し、実践できる。			○		
							② スポーツ活動・運動の合理的な実践方法や取り組み方など健康維持増進のための方法を実践できる。			○	○	
							③ 一生涯充実した生活を送るための生活習慣の見直しと自分自身のライフスタイルの再構築を計画できる。			○		○
							④ 自分自身の健康管理のみならず、周囲の人々をサポートを提言できる。			○	○	○
健康スポーツ	1				○	金野麻衣	① 様々なスポーツを通しての技術・ルールを理解のみならず、人間としてのマナー・エチケットに対する考えを育む。			○		
							② 基本技術を習得し、試合を通してスポーツ活動を親しむための総合的な運動技能を高める。		○	○		
							③ 生涯にわたって、スポーツ活動を楽しむための創意工夫を行い、より積極的な意欲・資質を高める。			○		
							④ 様々なスポーツ活動を通して、仲間と協力してグループ活動を行い人間関係の向上を図る。			○		○
							⑤ 自己やチームの課題を見つけて解決しようとする前向きな態度を養う。			○		○

キャリア開発総合学科 専門教育科目

『学習成果』

- 社会的・職業的自立に必要な知識と技能を習得し、実践につなげることができる。
- 人との関わりに必要な論理的思考、自己表現、他者理解、問題解決の能力を有し、協働することができる。
- 習得した専門的知識や技能を活用して課題に取り組み、地域社会の発展に積極的に貢献することができる。

【キャリア開発総合学科 専門教育科目】

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
キャリアデザインⅠ	2	○				専任教員	17
キャリアデザインⅡ	2		○			専任教員	17
ビジネス実務総論	2	○				富田幸重	17
情報科学	2	○				岩渕正則	17
情報処理論	2	○				岩渕正則	17
簿記会計学	2		○			畑中恵司	18
ビジネス実務演習	2		○			富田幸重・大澤栄子	18
プレゼンテーション演習	2		○			永野篤・吹谷しのぶ	18
基礎プログラミング演習	2		○			岩渕正則	18
FP技能士検定対策講座	2		○			小林光一	18
簿記検定Ⅰ	2	○		○		小林光一	18
簿記検定Ⅱ	2		○		○	小林光一	18
秘書検定講座	2	○				富田幸重	18
エントリ試験対策講座	4		◎	◎		岩渕正則	19
ホスピタリティ概論	2	○				今野則幸	19
新聞を読む	2		○			川辺博	19
生涯学習概論	2	○				永野篤	19
図書館概論	2	○				関根俊二	19
図書館サービス概論	2		○			関根俊二	19
図書館情報資源概論	2	○				庄子隆弘	19
情報資源組織論	2		○			早坂信子	20
児童サービス論	2	○				関根俊二	20
図書館情報資源特論	1		○			稲雄次	20
図書館基礎特論	1		○			関根俊二	20
物語を読む	2		○			大泉浩一	20
話し言葉の基礎	2	○				三浦貴子	20
話し言葉の応用	2		○			関根俊二	20
絵本製作	2		○			大泉浩一	20
公務員試験対策講座Ⅰ（自治体研究）	2		○			鳴海渉・堀良平	21
公務員試験対策講座Ⅲ（一般教養）	2	◎	◎			堀良平・星伸之	21
公務員試験対策講座Ⅳ（理科・社会・政治）	1		○			堀良平・杉本くみ子	21
公務員試験対策講座Ⅴ（文章理解・文学）	1	○				関根俊二・堀良平	21

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
医学一般	2	○				丸山穰	21
疾病論	2		○			渡部成子	21
医療と検査	2		○			渡部俊彦	21
ライフサイエンス	2		○			丸山穰	21
医事業務	4	◎	◎			横尾由香	22
医療の制度	2		○			横尾由香	22
医事・薬事法規	2		○			加藤淳子	22
医師事務補助特別講座Ⅰ	2		○			横尾由香	22
医療事務	4	○				加藤淳子	22
医療事務演習Ⅰ	2		○			加藤淳子	22
医事コンピュータ（レセコン）	2		○			横尾由香	22
医療事務特別講座Ⅰ	2		○			加藤淳子	22
ファッションビジネスⅠ	2	○		○		三塚由美子	22
ファッションビジネスⅡ	2		○		○	三塚由美子	22
ファッションアドバイザーⅠ	2	○		○		三塚由美子	23
ファッションアドバイザーⅡ	2		○		○	三塚由美子	23
カラーコーディネートⅠ	2	○		○		三塚由美子	23
カラーコーディネートⅡ	2		○		○	三塚由美子	23
ファッションデザイン	2	○				金澤千晶	23
ファッション造形（洋裁）実習	2	○				金澤千晶	23
ファッション造形（和裁）実習	2		○		○	佐藤なおみ	23
ファッションコーディネート	2		○			三塚由美子・金澤千晶	23
ネイリスト検定講座	1	○				千葉照実	23
ジェルネイル検定講座	1		○			千葉照実	24
ベーシックメイク	1	○		○		芳賀正明	24
アーティストメイク	1		○		○	芳賀正明	24
食品学Ⅰ（フード）	2	○				丸山穰	24
食品衛生学Ⅰ（フード）	2		○			丸山穰	24
カフェプランニング	2		○			吉田正	24
カフェフード実習	2		○			前澤正人・阿部加奈子	24
食品学Ⅰ（製菓）	2	○				丸山穰	24
栄養学B	2	○				深澤律子	25

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
食品衛生学Ⅰ（製菓）	2	○				渡部俊彦	25
食品学Ⅱ	2		○			丸山穰	25
栄養学各論	2		○			深澤律子	25
公衆衛生学Ⅰ	2	○				渡部俊彦	25
公衆衛生学Ⅱ	2		○			渡部成子	25
公衆衛生学Ⅲ	2		○			松本達二	25
衛生法規	2		○			角田正文	26
食品衛生学Ⅱ	2	○				角田正文	26
食品衛生学Ⅲ	2	○				渡部成子	26
食品衛生学Ⅳ	2		○			深澤律子	26
衛生管理	1	○				深澤律子	26
菓子文化論	2		○			相良奈津	26
菓子店経営論	2	○				高橋義弘	26
製菓理論Ⅰ	2	○				岩松秀夫	27
製菓理論Ⅱ	2	○				岩松秀夫	27
製菓理論Ⅲ	2		○			吉田正	27
製菓理論Ⅳ	2		○			岩松秀夫	27
製菓理論Ⅴ	2		○			岩松秀夫	27
洋菓子入門	2	○				吉田正	27
和菓子入門	2	○				岩松秀夫	27
製パン入門	3	○				小島進・江刺俊紀	27
洋菓子専門	2		○			吉田正・加藤信樹	28
製パン・和菓子専門	4		○			小島進・江刺俊紀・岩松秀夫	28
洋菓子応用Ⅰ	2		○			吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	28
洋菓子応用Ⅱ	2		○			吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	28
インターンシップ	1		○			吉田正	28
観光概論	2		○			大森信治郎	28
観光ビジネス実務総論	2		○			大森信治郎・今野則幸	28
観光英会話	2	◎	◎	◎	◎	江間ニーナ	28
地域観光論	2	○				大森信治郎	29
観光ビジネス実務実習	2		○			今野則幸	29
仙台の歴史と文化	2		○			佐藤和賀子	29

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
旅行業法	2	○				佐藤芳郎	29
観光関連約款	2	○				大森信治郎	29
旅行業実務Ⅰ	2	○				大森信治郎	29
旅行業実務Ⅱ	2		○			佐藤清志	29
韓国語会話実践	2		◎	◎		文慶喆	29
中国語会話実践	2	◎	◎	◎	◎	王軒	30
ホテル総論	2	○				今野則幸	30
テーブルマナー演習	1		○			高橋見時	30
ブライダル概論	2		○			今野則幸	30
ブライダルフラワービジネスⅠ	2		○			山川奈美	30
健康管理概論	2		○		○	高間章	30
運動生理学	2	○		○		高間章	31
機能的解剖学	2	○				佐々木秀将	31
スポーツ心理学	2	○		○		金野麻衣	31
健康と栄養・食事	2	○		○		岩田教子	31
健康づくりと運動プログラム	2		○		○	高間章	31
トレーニング指導論	2		○			佐々木秀将	31
トレーニング実習	1		○			佐々木秀将	31
ダンス実技（エアロビックダンス）	1		○			岡本真紀子	31
水泳・水中運動	1	○		○		及川裕子	32
バレーボール	1		○		○	佐々木秀将	32
やさしいダンス実技（エアロビックダンス）	1	○		○		岡本真紀子	32
やさしいダンス実技（よさこい）	1	○		○		及川佳澄	32
やさしいダンス実技（ストリートダンス）	1	○		○		及川佳澄	32
ダンス実技（ストリートダンス）	1		○		○	及川佳澄	32
スポーツ実技	1	○				渡辺篤史	32
スノーボード実習	1		集中		集中	高間章・及川佳澄	32
キッズスポーツクラブ総合実習	2		○			高間章	32
ピアヘルパー養成講座	2		○			緑川浩子	32
人間の尊厳と自立	2	○				宇田川佳浩	33
人間関係とコミュニケーション	2	○				加藤和子	33
生活と福祉	2	○				齋藤美香	33
社会と福祉制度	2		○			宇田川佳浩	33
介護概論Ⅰ	2	○				阿部和宏	33

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
介護概論Ⅱ	2		○			今野則幸	33
コミュニケーション技術概論	2		○			佐藤光市	33
福祉住環境論	2	○				野津弘	34
生活支援技術Ⅰ	2	○				齋藤美香	34
生活支援技術Ⅱ	2		○			齋藤美香	34
生活支援技術Ⅲ	2		○			佐藤京子・金澤千晶	34
介護過程Ⅰ	2	◎	◎			東海林初枝・阿部和宏	34
介護総合演習Ⅰ	2	◎	◎			阿部和宏	34
介護実習Ⅰ	2	◎	◎			阿部和宏・齋藤美香・東海林初枝	34
生涯発達論Ⅰ	2	○				東海林初枝	34
生涯発達論Ⅱ	2		○			尾形由美子	34
認知症の理解Ⅰ	2		○			森本浩史	34
障害の理解Ⅰ	2		○			高橋壮	34
こころとからだのしくみⅠ	2	○				東海林初枝・山本信	35
こころとからだのしくみⅡ	2	○				東海林初枝	35
こころとからだのしくみⅢ	2		○			家子敦子	35
医療的ケアⅠ	2		○			東海林初枝	35
介護初任者研修	6	◎	◎	◎	◎	齋藤美香・今出川武志・東海林初枝・尾形由美子・高橋壮・家子敦子	35
MOS 検定講座 (Word)	1	○				小野寺幸子・杉本くみ子	35
MOS 検定講座 (Excel)	1		○			小野寺幸子・杉本くみ子	35
国内旅行業務取扱管理者試験講座	2	集中		集中		大森信治郎	35
ミュージックテクニックの基礎	1	○		○		星律子	35
作詞・作曲の基礎	2		○		○	榊原光裕	36
リズムトレーニング	1		○		○	星律子	36
ヴォーカルトレーニング	1		○		○	庄子眞理子	36
バンドアンサンブル	2	◎	◎	◎	◎	那須尚平	36
茶道	2	◎	◎	◎	◎	鎌田文恵	36
コミックアート (漫画・イラスト)	2	○				阿部明子	36
ボイストレーニング (声優)	2		○			三浦貴子	36
ネットワーク演習	1	集中	集中	集中	集中	永野篤	36
図書館実習	1		○			関根俊二	37
ベーシックゼミ	2			◎	◎	専任教員	37
キャリアデザインⅢ	1			○		専任教員	37

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
介護総合演習Ⅱ	2			◎	◎	東海林初枝・阿部和宏	37
キャリアデザインⅢ (介護福祉士養成課程)	1			○		半澤秀雄	37
コンピュータ会計演習	2			○		畑中恵司	37
オフィススタディ	2				○	富田幸重	37
情報環境論	2				○	岩淵正則	37
データベース概論	2			○		大澤栄子	37
コンピュータネットワーク	2				○	丸山穰	38
データベース演習	2				○	大澤栄子	38
マルチメディア演習 (2 DCG)	2			○		渡辺光治	38
プログラミング演習	2			○		大澤栄子	38
図書館制度・経営論	2				○	稲雄次	38
情報サービス論	2			○		庄子隆弘	38
情報サービス演習	2				○	庄子隆弘	38
図書館情報技術論	2				○	川辺博	39
情報資源組織演習	2			◎	◎	早坂信子	39
ノンフィクションを読む	2			○		関根俊二	39
書き言葉	2			○		大泉浩一	39
IT時代の表現	2				○	川辺博	39
雑誌製作	2			○		大泉浩一	39
創作演習	2				○	関根俊二	39
公務員試験対策講座Ⅱ (面接実習)	1			○		鳴海渉・堀良平	39
公務員試験対策講座Ⅵ (実践)	1			○		堀良平・星伸之	39
薬理学	2			○		渡部成子	40
公衆衛生学	2				○	渡部俊彦	40
医療の外国語 (英・独・ラテン語)	2				○	永野篤	40
医療情報演習 (電子カルテ含む)	2				○	横尾由香	40
医師事務補助特別講座Ⅱ	2			○		横尾由香	40
医療事務演習Ⅱ	2			○		加藤淳子	40
医療事務演習Ⅲ (調剤報酬)	2			○		丸山穰・加藤淳子	40
医事接遇マナー	2			○		加藤淳子	40
医療事務特別講座Ⅱ	2			○		加藤淳子	40
クリエイティブデザイン	2			○		金澤千晶	40
ステージショー演出	2				○	金澤千晶	41
食文化論	2				○	梅津裕子	41

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
食環境コーディネーター	2			○		佐藤睦子・今野則幸	41
フードショッププランニング	2				○	今野則幸	41
調理方法と調理機器	2			○		前澤正人・深見信也・吉田正	41
テーブルコーディネーター	1			○		梅津裕子	41
栄養学 A	2			○		梅津裕子	41
カフェスキル演習	2			○		松尾勲・李泰憲・兼子美紀弘・梅津裕子	41
カフェデザート実習	2			○		相良奈津子・岩松秀夫	42
カフェドリンク実習 I	2			○		里館薫・小野寺靖忠・細貝涼哉・吉田正・梅津裕子	42
カフェドリンク実習 II	2				○	里館薫・小野寺靖忠・細貝涼哉・吉田正・梅津裕子	42
製菓技術 I	2			○		吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	42
製菓技術 II	2			○		吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	42
製菓学外実習 I	2			○		吉田正	42
製菓学外実習 II	2				○	吉田正	42
観光事業論	2				○	大森信治郎	43
観光ガイドトレーニング	2				○	佐藤清志	43
ブライダル実務	2			○		今野則幸	43
ゲストサービス演習	1				○	高橋見時	43
ブライダルフラワービジネス II	2				○	山川奈美	43
運動障害と救急法	2			○		佐々木秀将・橋本実	43
体力測定と評価	2			○		高間章・及川佳澄	43
フィットネス実技指導法	2			◎	◎	渋谷祐子・高間章	43
ダンス実技演習 I	1			○		高間章・及川佳澄	43
ダンス実技演習 II	1				○	高間章・及川佳澄	44
スポーツ指導論 I	2			○		佐々木秀将	44
スポーツ指導論 II	2				○	佐々木秀将	44
介護概論 III	2			○		今出川武志	44
介護概論 IV	2				○	雫石理枝	44
リハビリテーション概論	2			◎	◎	小林武・都竹誠・府中勝博	44
アクティビティ概論	2			◎	◎	阿部和宏	44
コミュニケーション技術演習	1			◎	◎	阿部和宏	44

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
生活支援技術Ⅳ	2			◎	◎	齋藤美香	44
生活支援技術Ⅴ	1				○	芳賀正明	45
介護過程Ⅱ	2			◎	◎	阿部和宏	45
介護過程Ⅲ	1				○	東海林初枝・阿部和宏	45
介護実習Ⅱ	4			○		阿部和宏・東海林初枝・齋藤美香	45
介護実習Ⅲ	4				○	阿部和宏・東海林初枝・齋藤美香	45
認知症の理解Ⅱ	2			◎	◎	森本浩史	45
障害の理解Ⅱ	2			○		尾形由美子	45
こころとからだのしくみⅣ	2			○		家子敦子	45
医療的ケアⅡ	4			◎	◎	東海林初枝	45
医療的ケア演習	1			◎	◎	東海林初枝	45
病院実習	1			○		丸山稜・加藤淳子	46

【キャリア開発総合学科 専門教育科目】

ディプロマ・ポリシー	1. 〈知識・理解〉 地域社会で求める職業人の基礎となる専門的知識と技能が習得できている。
	2. 〈思考・判断〉 自ら見出した課題について、習得した知識・技能をもとに考察できる。
	3. 〈関心・意欲〉 身につけた教養、知識・技能をもとに、生涯学び続け地域社会に貢献する意欲をもっている。
	4. 〈態度〉 社会の一員としての責任を自覚し、多様な立場の人と協働できる。
	5. 〈技能・表現〉 他者の考えを受けとめ、自分の考えを場面に応じた手段を用いて的確に表現できる。

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
		1年		2年				○：DP 達成のために重要					
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	
キャリアデザインⅠ	2	○				専任教員	① 世の中のしくみと、現代社会の基本的課題について研究し、論じることができる。		○				
							② 社会人・職業人として自立するための協働する力を高める。					○	○
							③ 自主的・自律的に、諦めずに粘り強く取り組む姿勢を身に付け、問題解決に取り組むことができる。						○
キャリアデザインⅡ	2		○			専任教員	① 現代の経済的・社会的枠組みの基礎を学習し、課題について論じ、問題的を指摘できる。		○				
							② 現代の社会人・職業人として、理想的な人物像について検討し、論じることができる。	○					
							③ 社会人・職業人としてのアイデンティティを確立させ、環境に適応していくことができる。				○	○	
ビジネス実務総論	2	○				富田幸重	① ビジネス実務能力が発揮できるような考え方や技術を習得し実践できる。	○		○			
							② 簡単なビジネス文書について理解し、作成することができる。		○				
							③ ビジネスにおける対人関係においてコミュニケーションの必要性を理解し、主体的行動をとることができる。					○	○
情報科学	2	○				岩淵正則	① コンピュータのハードウェア分野に関する基礎理論を説明できる。	○					
							② コンピュータシステムの基本構成を説明できる。	○					
							③ IT パスポート試験のテクノロジー系分野について、論じることができる。	○	○	○			
							④ コンピュータのシステム構成について、その種類と特徴を説明できる。	○					
							⑤ データベースの構成について、説明できる。	○		○			
							⑥ インターネットの構成について、説明できる。	○		○			
							⑦ セキュリティの構成について、説明できる。	○		○			
情報処理論	2	○				岩淵正則	① コンピュータの経営全般に関する基礎理論を説明できる。	○		○			
							② コンピュータシステムの IT 管理を説明できる。	○		○			
							③ コンピュータシステムの IT 技術を説明できる。	○		○			
							④ コンピュータのストラテジ系（戦略系）を説明できる。	○		○			
							⑤ コンピュータのマネジメント系（経営管理系）について、説明できる。	○		○			
							⑥ ソフトウェア開発の工程について、説明できる。	○		○			
							⑦ IT パスポート国家試験の内容について、説明できる。	○		○	○		

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
簿記会計学	2		○			畑中恵司	① 企業会計における簿記の必要性を述べることができる。	○				
							② 複式簿記の記帳ルールを説明できる。	○				
							③ 財産管理ができるようになる。	○	○			
							④ 財務諸表（貸借対照表と損益計算書）の作成と経営分析ができるようになる。	○	○			
ビジネス実務演習	2		○		富田幸重・大澤栄子	① ビジネス実務能力が発揮できるような考え方や技術を習得し実践できる。	○	○				
						② 状況に応じた的確な判断と表現を養うことにより、対人関係において豊かなコミュニケーションが取れるようになる。	○	○	○	○	○	
						③ 日本の産業別 GDP・昨今の日本業界を理解し、説明することができる。	○	○				
プレゼンテーション演習	2		○		永野篤・吹谷しのぶ	① プレゼンテーションの準備を行うことができる。	○				○	
						② わかりやすいプレゼンテーション資料を作ることができる。	○				○	
						③ 効果的なプレゼンテーションを実施することができる。	○				○	
基礎プログラミング演習	2		○		岩渕正則	① C 言語の構成を説明できる。	○					
						② C 言語を構成する各命令を操作できる。	○					
						③ 構造化プログラミングを説明できる。	○					
						④ 基本的なアルゴリズムを説明できる。	○		○			
						⑤ 基本的な処理をプログラミングで操作できる。	○		○			
						⑥ プログラムの開発工程を説明できる。	○		○			
						⑦ システム開発工程を説明できる。	○		○			
FP 技能士検定対策講座	2		○		小林光一	① ライフプランニングの基本を理解し、その内容を説明できる。	○			○		
						② リスク管理についての知識を習得し、課題を解くことができる。	○					
						③ タックスプランニングの理解を深め、簡単な確定申告書作成や税額計算ができる。	○		○			
						④ 不動産、相続について理解を深め、その内容、仕組みが説明できる。	○			○		
簿記検定 I	2	○		○	小林光一	① 簿記の構成要素や決算までの流れについて理解し且つ説明ができる。	○					
						② 財務諸表の意味とその内容を理解し、説明し、作成できる。	○					
						③ 伝票会計、帳簿組織の作成を体系的に理解し且つ説明ができる。	○					
						④ 全経簿記能力検定試験 3 級程度の実力を発揮できる。	○					
簿記検定 II	2		○	○	小林光一	① 個人企業の開業から決算までの流れを理解し説明できる。	○					
						② 日常取引から決算までの帳簿作成や決算処理ができる。	○					
						③ 個人企業に加え、企業の経理知識も理解し説明できる。	○					
						④ 日商簿記検定 3 級程度の実力を発揮できる。	○					
秘書検定講座	2	○			富田幸重	① 秘書の役割と機能について理解し、その内容を説明できる。	○	○				
						② 秘書として必要とされる職務知識・技能を理解し、説明できる。		○				
						③ 秘書としての身だしなみ・態度・言葉づかいを習得し、実践できる。			○	○	○	
						④ 現代社会におけるマナー・接遇を習得し、実践できる。			○	○	○	

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
エントリー試験対策講座	4		◎	◎	岩渕正則	① IT パスポート試験に合格できる。	○	○	○	○	○	
						② コンピュータのソフトウェア構成の概要を説明できる。	○					
						③ コンピュータのハードウェア構成の概要を説明できる。	○					
						④ 企業活動や関連業務について、その概要を説明できる。	○		○			
						⑤ 経営戦略やビジネスインダストリーについて、その概要を説明できる。	○		○			
						⑥ 情報システムの開発やその運用について、その概要を説明できる。	○		○			
						⑦ ネットワークや情報セキュリティについて、その概要を説明できる。	○		○			
ホスピタリティ概論	2	○			今野則幸	① ホスピタリティの起源・語源・歴史を理解し、概要を説明できる。	○					
						② ホスピタリティを活用している施設を調べ、内容を比較できる。				○	○	
						③ 日常生活の中で必要な人間関係を論じ、ホスピタリティの必要性を述べることができる。	○	○	○			
						④ 自然環境に対し、ホスピタリティの必要性を述べるができる。		○		○	○	
新聞を読む	2	○			川辺博	① 新聞を読んで活用するための技術を身につける。	○					
						② 時事問題に関心を持ち、自分自身に関連づけてとらえ、自分なりの考えが発表できる。		○				
						③ 「ニュース時事能力検定」受験を目指した取り組みができる。	○					
生涯学習概論	2	○			永野篤	① 生涯学習の歴史と理念を省察できる。	○					
						② 関連施設の運営業務のについて説明できる。	○					
						③ 関係施設の担当の役割について解説できる。	○	○				
						④ 地域の関連施設の視察を基に生涯学習の課題が見出せる。			○			
図書館概論	2	○			関根俊二	① 図書館の意義について理解でき、概要を説明できる。	○					
						② 図書館の歴史について理解でき、概要を説明できる。	○					
						③ 司書の使命と責任について理解でき、概要を説明できる。	○	○				
						④ 多様な図書館や図書館の類縁機関について理解し概要を説明できる。	○					
						⑤ 図書館の課題を全体的に理解し、改善のための指針を提示できる。	○	○				
図書館サービス概論	2	○			関根俊二	① 図書館サービスの流れ全般について概要を理解し説明できる。	○	○				
						② 近年の図書館サービスの変化と広がりを理解し、説明できる。				○	○	
						③ 基礎的な行事運営を理解し実践できる。						○
図書館情報資源概論	2	○			庄子隆弘	① 図書館で扱う情報資源の種類や特徴を挙げて、説明できる。	○		○			
						② 図書館情報資源を司書、図書館員の視点で捉えたときに必要な知識、スキルを挙げることができる。	○					
						③ 図書館情報資源を学術的視点で捉えたときに必要な知識、スキルを挙げることができる。	○					
						④ 図書館情報資源を社会や地域の視点で捉えたときに必要な知識、スキルを挙げることができる。	○	○	○	○		
						⑤ 図書館情報資源を経営的視点で捉えたときに必要な知識、スキルを挙げることができる。	○					
						⑥ 図書館情報資源に関わる技術やツールを挙げて、説明できる。	○					
						⑦ 図書館情報資源に関する現代の課題や解決案を議論できる。		○	○	○	○	

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
情報資源組織論	2		○			早坂信子	① 図書館情報資源の書誌コントロールについて理解し、その内容を説明できる。	○	○					
							② 効率的な情報資源の組織化について理論と知識を習得し、その技法を説明できる。	○	○					
							③ 分類、目録、件名の作業ツールの構成と特性を理解し、最適な手法を選択できる。	○	○					
							④ 一般的な情報取得についての知識及び書誌データの活用法を習得し、実践に結びつけることができる。				○	○		
							⑤ 社会における新しいメディアの普及と、図書館で扱う情報資源の急速な変化とその対処法について説明できる。			○	○			
児童サービス論	2	○				関根俊二	① 児童サービスの意義と内容について理解し説明できる。	○	○	○				
							② 年齢ごとの児童サービスについて理解し説明できる。	○	○					
							③ 児童向けの資料について知識をもって説明できる。	○	○					
							④ 資料と児童をつなぐ各種の技法を身につけており実践できる。					○	○	
図書館情報資源特論	1		○			稲雄次	① 図書館における情報資源とは何かを説明できる。					○	○	
							② 図書館において情報資源を発見する方法を説明できる。						○	
							③ 図書館における情報資源を発見して、それを発表することができる。					○		
							④ 図書館におけるレファレンスを説明できる。					○		
							⑤ 図書館におけるレファレンスの利用者対応を説明できる。					○		
							⑥ 図書館においてレファレンスをする利用者の「質問は何か」を論じることができる。						○	
							⑦ 図書館情報資源を提供するレファレンスの仕方をできるようにする。						○	
図書館基礎特論	1		○			関根俊二	① 図書館サービスの現状について事例を挙げ説明できる。	○			○	○		
							② 図書館の施設・設備について、その理念も含め、事例を挙げ説明できる。	○		○				
							③ 図書館の広報活動について事例を挙げ説明できる。		○			○		
物語を読む	2		○			大泉浩一	① 同じ物語を一緒に読んで音読することで「読む力」を高め、読解や表現にいかすことができるようになる。	○		○		○		
							② 物語の構造を知り、自ら書いてみることで「読む力」を深め、読解や表現にいかすことができるようになる。	○	○	○				
							③ テキストの作成を通じて、社会人にとって必要な文章作成にいかすことができるようになる。	○			○	○		
話し言葉の基礎	2	○				三浦貴子	① 人が声を発する仕組みを理解し、大きく張りのある声が出せる。	○						
							② 状況に応じた言葉遣いができ、敬語を正しく使えるようになる。		○		○			
							③ 言葉遣いに留まらず、表情、所作、態度を含めて、好印象を与えられるようになる。				○	○		
話し言葉の応用	2		○			関根俊二	① 社会人にふさわしく、正確にわかりやすく話し言葉で説明できる。	○	○					
							② 言葉についての理解をもち、言葉の使い分けなど、言葉を意識的に活用できる。	○				○		
							③ 傾聴する能力をもち、コミュニケーションを円滑に行うことができる。				○	○	○	
絵本製作	2		○			大泉浩一	① 絵本という優れた表現方法についての知識を、社会人として必要な表現に応用できるようになる。	○		○				
							② 印刷物製作の知識と技術が身につく、社会人として必要な表現に応用できるようになる。	○		○				
							③ グループ課題の製作を通してコミュニケーション能力が身につく、社会人として必要な協働に活用できるようになる。		○		○	○		

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
公務員試験対策講座Ⅰ (自治体研究)	2		○			鳴海渉・堀良平	① 地方自治法などに規定されている目的、役割等を説明、思考できる。	○	○			
							② 地方自治体が目指すべき指針について説明、思考できる。	○	○			
							③ 議会が果たしている役割について説明、思考できる	○	○			
							④ 自治体の財政状況等を知り、今後の政策形成を論じることができる。	○	○	○	○	○
公務員試験対策講座Ⅲ (一般教養)	2	◎	◎			堀良平・星伸之	① 公務員の仕事等について、概要が理解できる。	○	○			
							② 公務員試験に必要な対策についておおむね理解ができ、取り組みを始められる。	○	○			
							③ 数学の基礎事項を復習し、理解を深められる。	○	○	○		
							④ 公務員試験の主要科目である一般知能科目の基本的な解法が理解できる。	○	○	○		
							⑤ 公務員試験に限らず就職試験における筆記試験に活用できる知識の習得ができる。	○	○	○		
							⑥ 公務員試験受験希望者等に限らず、各自の弱点を理解するなどして、一般教養の知識の向上が図られる。	○	○	○		
公務員試験対策講座Ⅳ (理科・社会・政治)	1		○			堀良平・杉本くみ子	① 社会科学分野（政治・経済・社会）について基礎学力を高め、問題を解くことができる。	○	○	○		
							② 人文科学分野（日本史・世界史・地理・文学芸術）について基礎学力を高め、問題を解くことができる。	○	○	○		
							③ 自然科学分野（物理・化学・生物・地学）について基礎学力を高め、問題を解くことができる。	○	○	○		
公務員試験対策講座Ⅴ (文章理解・文学)	1	○				関根俊二・堀良平	① 現代文を適切に理解し、設問を解くことができる。	○			○	○
							② 国語のルールを理解し正しく活用できる。	○		○		
							③ 自分の考えを小論文にまとめることができる。		○			○
医学一般	2	○				丸山穰	① 医療関係に従事する者に必要な基礎的な医学の知識として体の仕組みを説明できる。	○	○	○		
							② 他の医療関連科目履修の基礎となる基本的な臨床例を挙げることができる。	○	○	○		
							③ 他の医療関連科目履修の基礎となる基本的な体の仕組みを説明することができる。	○	○	○		
							④ 体の仕組みについて、食・栄養素の視点から説明できる。	○	○	○		
疾病論	2		○			渡部成子	① 主な疾病の発症機序が説明できる。	○		○		
							② 主な疾病の症状が説明できる。	○		○		
							③ 主な疾病の予防や早期発見の方法について説明できる。	○		○		
医療と検査	2		○			渡部俊彦	① 検査を行う目的と重要性が説明できる。	○		○		
							② 検査に関わる専門用語を説明できる。	○		○		
							③ 主な疾患で行われる検査項目を挙げられる。	○		○		
							④ 主な検査方法の概要を説明できる。	○		○		
ライフサイエンス	2		○			丸山穰	① 生命の基本単位を理解し、説明できる。	○	○	○		
							② ゲノム・遺伝子・発生と分化について各用語の意味と一連の流れを説明できる。	○	○	○		
							③ 最新のバイオ技術と生命倫理について考察し、討議できる。	○	○	○	○	
							④ 生命の大切さを理解し、生物多様性の保全について討議できる。	○	○	○	○	○

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
医事業務	4	◎	◎			横尾由香	① 医師事務作業補助者の仕事を理解し、概要を説明できる。			○	○			
							② 健康保険制度を理解し、概要を説明できる。	○			○			
							③ 診断書等の医療文書を作成できる。	○						
							④ 薬の基礎について、説明できる。	○						
医療の制度	2				横尾由香	① 医療関連法規を理解する。	○							
						② 医師事務作業補助者として必要な知識を習得する。	○		○					
医事・薬事法規	2				加藤淳子	① 医療法、医師法など医療機関に関わる法規を理解し説明できる。	○							
						② 医療施設に関する法規、医療従事者に関する法規を理解し説明できる。	○							
						③ 予防衛生に関する法規、保健衛生に関する法規を理解し説明できる。	○							
						④ 保健衛生に関する法規を理解し説明できる。	○							
						⑤ 薬事関連、環境衛生に関する法規を理解し説明できる。	○							
医師事務補助特別講座Ⅰ	2				横尾由香	① 医師事務作業補助者として必要な業務スキルを習得する。	○		○					
						② 医師事務作業補助技能認定試験合格を目指す。	○							
医療事務	4	○			加藤淳子	① 医療保険制度、公費負担制度、後期高齢者医療制度を学び、医療全体の仕組みを理解でき説明できる。	○							
						② 診療報酬の基礎を学び、診療報酬請求事務を理解し正しく請求ができる。	○							
						③ 請求書である診療報酬明細書を正確に記入することができる。	○							
医療事務演習Ⅰ	2				加藤淳子	① 診療報酬請求事務の問題を解き自分のレベルを確認できる。	○							
						② 診療報酬の基礎を学び、診療報酬請求事務を理解し正しく請求ができる。	○							
						③ 入院料の基礎を学び、入院の診療報酬明細書を正確に記入することができる。	○							
医事コンピュータ (レセコン)	2				横尾由香	① 医事コンピュータの操作ができる。	○							
						② 外来診療録の入力ができる。	○							
						③ 入院診療録の入力ができる。	○							
医療事務特別講座Ⅰ	2				加藤淳子	① 受付窓口での様々な問題を想定し、その対応を適切に実践できる。	○							
						② 医療保険制度、高齢者医療、公費負担医療等の知識の確認ができる。	○							
						③ 診療報酬請求事務の請求書作成と点検ができる。	○							
						④ 資格取得に向けて、検定試験の出題範囲を理解し、検定試験の対策方法を実践する。	○							
ファッションビジネスⅠ	2	○		○	三塚由美子	① ファッション業界について客観的に理解でき、その流れを説明できる。		○						
						② ファッションビジネスの歴史について理解でき、その概要を説明できる。		○	○					
						③ ファッション業界にかかわる者としての使命と責任について理解でき、概要を説明できる。	○		○	○	○			
						④ ファッション業界の課題を理解し、改善のための指針を提示できる。	○					○		
ファッションビジネスⅡ	2			○	三塚由美子	① ファッションデザインの定義と特性、ファッションの歴史について理解し、その要素や役割について説明できる。	○	○	○					
						② ファッション商品の知識とコーディネートについて理解し、自ら提案することができる。	○		○		○			
						③ 商品のサイズ表示、品質表示、取り扱い方法について理解し、概要を説明できる。	○							

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP 達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
ファッション アドバイザーⅠ	2	○		○		三塚由美子	① ファッション販売にかかわる接客技術、販売知識、消費者心理について理解し、実践することができる。	○	○	○	○			
							② ファッションビジネスに関する基礎知識を理解し、概要を説明できる。							○
							③ 店舗運営に関する基礎知識と、営業中のオペレーションの流れを理解し、概要を説明できる。	○	○	○	○			
ファッション アドバイザーⅡ	2		○	○		三塚由美子	① ファッション商品についての知識を深め、他者に説明できる。	○					○	
							② 消費者のニーズを的確に把握し、よりパーソナルなアドバイスを行うことができる。	○	○	○				
							③ 消費者目線での店舗演出を理解し、実践できる。	○	○			○		
カラーコーディネートⅠ	2	○		○		三塚由美子	① 色彩の基礎を理解し、概要を説明することができる。	○						
							② 用途や目的に合わせた色を選択し、提案をすることができる。			○	○			○
							③ 色彩の知識を習得し、デザインなどの現場で活用することができる。			○	○			○
							④ 配色の基礎を理解し、適切な配色提案をすることができる。	○	○	○				○
							⑤ 色の心理的な効果を理解し、概要を説明することができる。							○
カラーコーディネートⅡ	2		○	○		三塚由美子	① 多様な配色方法を理解し、目的や機能に合わせた提案やアドバイスができる。				○	○		
							② 様々な事例について、色の使い方を分析し、応用、実践することができる。			○			○	
							③ 色彩検定3級の受験にチャレンジし、資格を取得することで就職活動に生かすことができる。						○	○
ファッションデザイン	2	○				金澤千晶	① ファッションデザインの歴史・過程を知り、各年代のデザイナーを知ることができる。	○						
							② 洋服のデザイン（シルエット・ディテール）の名称を知ることができる。	○						
							③ 新たなデザインの発想をする力を身に付け、提案することができる。			○	○			
							④ フォーマルの場に着用する正しい服装を知ることができる。				○	○		
ファッション造形 （洋裁）実習	2	○				金澤千晶	① 洋裁の使用道具の使い方を覚え、体型に合う原型を製作することができる。	○						
							② 布地の特性を知り、基本的なデザインの作図および縫製することができる。	○						
							③ デザインに合わせたダーツやギャザーの入れ方が分かるようになる。			○	○			
ファッション造形 （和裁）実習	2		○	○		佐藤なおみ	① 和服の基礎が理解できる。						○	
							② 和裁の基礎技術・知識を身につける。							○
							③ 反物、布の扱いに慣れる。							○
							④ 自分自身で和服が着られようになる。							○
							⑤ 独自のアレンジを加える等、現代のファッションとしての着物を考える。							○
ファッション コーディネート	2		○			三塚由美子・ 金澤千晶	① スタイリストとしての基本を習得することができる。	○						
							② トータルスタイリングについて知ることができる。	○	○					
							③ ファッション商品について理解を深めることができる。	○	○	○				
							④ ファッションショーのコーディネートの提案ができる。			○				
ネイリスト検定講座	1	○				千葉照実	① 爪の構造を理解し説明できる。			○				
							② 衛生管理について理解し説明できる。	○	○					
							③ ネイル材料について理解し説明できる。			○				
							④ JNEC ネイリスト技能検定試験3級取得のための知識と技術を実践することができる。	○	○	○				

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
		1年		2年				○：DP達成のために重要					
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	
ジェルネイル検定講座	1		○			千葉照実	① 爪の構造を理解し説明できる。		○				
							② 衛生管理について理解し説明できる。	○	○				
							③ ネイル材料について理解し説明できる。		○				
							④ JNA ジェルネイル技能検定試験初級取得のための知識と技術を実践することができる。	○	○	○			
							⑤ ジェルネイルアートの作品を制作できる。						
ベーシックメイク	1	○		○		芳賀正明	① 皮膚に関する知識を理解し、その内容を説明できる。	○		○			
							② 化粧品の使用目的を理解し、ケアを実践できる。	○	○	○			
							③ 色彩とメイクアップの関係性を理解し、メイクアップテクニックを実践できる。	○	○	○		○	
							④ 正しいメイクアップテクニックや情報を理解し、セルフメイクアップを実践できる。	○	○	○		○	
アーティストメイク	1		○	○		芳賀正明	① メイクアップアドバイスの知識を説明できる。	○	○	○		○	
							② 相モデルでコミュニケーションを計るテクニックを説明できる。	○	○		○		
							③ メイクアッププランを提案しイベントに実践できる。	○		○	○		
							④ クリエイティヴな発想やメイクアップテクニックを実践できる。	○	○	○	○	○	
食品学Ⅰ（フード）	2	○				丸山穰	① 個々の食材について、日常生活於いてあらためて意識していくようになる。	○	○	○			
							② 食品に必要な機能・条件を理解する。	○	○	○			
							③ 個々の食材の特徴を理解する。	○	○	○			
							④ 得た知識を実際の食生活に応用できるようになる。	○	○	○			
食品衛生学Ⅰ（フード）	2		○			丸山穰	① 生命を維持するのに絶対不可欠である食の安全について意識できるようになる。	○	○	○		○	
							② 食中毒の原因と予防方法を理解する。	○	○	○			
							③ 食品において、健康に害があるということがどういうことか理解する。	○	○	○			
							④ 食の安全について常に心がけた生活ができるようになる。	○	○	○			
カフェプランニング	2		○			吉田正	① カフェビジネス全般を体系的に分類することができる。	○					
							② カフェ業界の職業人としての社会貢献について自信の考えを論じることができる。	○		○	○		
							③ カフェ文化の現状と課題について論じることができる。	○	○				
							④ 多様化するカフェショップのビジネススタイルの違いを理解し、その概要を説明できる。	○		○	○		
カフェフード実習	2		○			前澤正人・阿部加奈子	① 食産業、外食産業の基本的な教養調理技術を身につけ、その内容を説明できる。	○	○		○		
							② 調理理論の知識基礎技術を習得し実践できる。		○	○	○		
							③ 旬の調理基礎から食育的栄養学の応用がで食の大切さを習得し実践できる。		○	○	○		
							④ 実習で習得した知識と技能を活用し習得し実践できる。			○	○	○	
食品学Ⅰ（製菓）	2	○				丸山穰	① 製菓技術者として、個々の食材についてあらためて意識する。	○	○	○			
							② 食品に要求される機能・条件を理解する。	○	○	○			
							③ 個々の食材の特徴を理解する。	○	○	○			
							④ 製菓衛生師試験の食品学の分野に十分な知識を習得する。	○	○	○			

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP 達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
栄養学 B	2	○			深澤律子	① 栄養学の基礎として栄養素の働きを説明できる。	○							
						② 栄養素の消化・吸収・代謝・排泄の仕組みを学び、各栄養素の消化酵素を挙げることができる。	○							
						③ 人体での水の働きについて学び、水分補給の重要性を説明できる。	○							
						④ 健康を維持増進するために、6つの基礎食品をバランスよく摂取することを学び、6つの基礎食品を説明することができる。	○							
						⑤ 体内でのホルモンの働きについて学び、ホルモンの名前と働きを挙げることができる。	○							
						⑥ 排泄の仕組みについて学び、腸内細菌の働き、食物繊維（水溶性・不溶性）の重要性を説明することができる。	○							
						⑦ 製菓衛生師国家試験の過去問題を解くことができる。	○							
食品衛生学 I（製菓）	2	○			渡部俊彦	① 食品衛生の意義が説明できる。	○		○					
						② 食品添加物の役割について説明できる。	○		○					
						③ 食品添加物の人体への影響を説明できる。	○		○					
						④ 食品添加物の使用上の規則が説明できる。	○		○					
食品学 II	2	○			丸山穰	① 製菓技術者として、個々の食材についてあらためて意識する。	○	○	○					
						② 食品に要求される機能・条件を理解する。	○	○	○					
						③ 個々の食材の特徴を理解する。	○	○	○					
						④ 製菓衛生師試験の食品学の分野に十分な知識を習得する。	○	○	○					
栄養学各論	2	○			深澤律子	① 三大栄養素のエネルギーが理解でき、基礎代謝、活動代謝を説明できる。	○							
						② 日本人の食事摂取基準について三大栄養素の一日に必要なエネルギー摂取量の目標量を挙げることができる。	○							
						③ 国民の健康・栄養状態の現状を説明できる。	○							
						④ 健康を維持増進するために、食事バランスガイドを説明することができる。	○	○	○					
						⑤ 人生の諸段階（ライフステージ）に必要な栄養摂取の仕方を説明できる。	○	○						
						⑥ 自分や周囲の人の健康増進の課題について理解し、必要な栄養摂取について説明することができる。	○	○	○					
						⑦ 製菓衛生師国家試験の過去問題を解くことができる。	○							
公衆衛生学 I	2	○			渡部俊彦	① 公衆衛生を学ぶ意義を説明できる。	○		○					
						② 公衆衛生の現状を説明できる。	○		○					
						③ 衛生統計の内容を理解できる。	○		○					
						④ 衛生統計に関する用語を理解できる。	○		○					
公衆衛生学 II	2	○			渡部成子	① 人が生活している環境について説明できる。	○		○					
						② 公衆衛生を維持するための仕組みを説明できる。	○		○					
						③ 環境保健と人の健康の関係について説明できる。	○		○					
						④ 環境改善の方法を具体的に例示できる。	○		○					
公衆衛生学 III	2	○			松本達二	① 製菓衛生師法に基づく公衆衛生学の理論、方法について理解しその内容を説明できる。	○							
						② 公衆衛生学に基づいて実際の実施要項を理論的に把握し、説明できる。	○							
						③ 公衆衛生学が製菓の現場でなぜ不可欠なのか理解し実践出来る。	○	○						

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
衛生法規	2		○			角田正文	① 衛生法規の意義が説明できる。	○						
							② 食品衛生法を菓子製造業務に関連付けることができる。	○						
							③ 製菓衛生師法の目的を論じることができる。	○	○					
							④ 製菓衛生師として人々に菓子等の食品を提供するにあたる法規に関連付けることができる。	○	○			○		
							⑤ 製菓衛生師として公衆衛生に寄与できる基本知識を身につけ、実践できる。	○						○
食品衛生学Ⅱ	2	○			角田正文	① 食中毒の発生状況を説明できる。	○							
						② 食中毒の病因物質の予防対策が説明できる。	○	○	○	○				
						③ 菓子と食中毒の関連を説明できる。	○							
						④ 人に対する食の安全を提供する製菓衛生師としての基本的知識を習得し実践できる。	○			○	○			
食品衛生学Ⅲ	2	○			渡部成子	① 食物連鎖について説明できる。	○			○				
						② 重金属、化学物質、農薬などの人体への影響を説明できる。	○			○				
						③ 農薬や異物が食品に混入する原因を説明できる。	○			○				
						④ 農薬や放射線の適切な利用方法を説明できる。	○			○				
食品衛生学Ⅳ	2		○		深澤律子	① 菓子製造者として人々に食品を販売する社会的責任感を学び、自主衛生管理を説明できる。	○						○	
						② 菓子製造者として、食品衛生についての知識を学び、科学的な根拠をもとに実践方法を説明できる。	○						○	
						③ 食品衛生法に基づいた食品の衛生管理を説明することができる。	○						○	
						④ 食品衛生法に基づいた管理運営基準、洋生菓子の衛生規範を学び、食品の衛生管理を説明することができる。	○						○	
						⑤ 食品衛生法に基づいた食品取扱者の衛生管理について学び、実践することができる。	○			○			○	
						⑥ 食品表示法に基づいた食品表示、アレルギー表示、その他の表示を理解し、説明できる。	○						○	
						⑦ 製菓衛生師国家試験の過去問題を解くことができる。	○							
衛生管理	1	○			深澤律子	① 衛生管理を実習を通して学び、清潔な身だしなみができる。	○							
						② 衛生管理についての知識を学び、日常生活の健康管理の重要性を科学的な根拠をもとに説明できる。	○							
						③ 衛生管理を学び、食品の衛生管理を実践することができる。	○			○				
						④ 衛生管理について実習を通して学び、洗剤の使用法や消毒剤の使用法を説明することができる。	○							
						⑤ 食品衛生法に基づいた食品取扱者の衛生管理について学び、実践することができる。	○			○				
						⑥ 製菓業務における HACCP システムについて学び、危害リストの作成ができ、説明できる。	○							
						⑦ 製菓衛生師国家試験の過去問題を解くことができる。	○							
菓子文化論	2		○		相良奈津	① 菓子の歴史・文化について理解する。	○			○				
						② 菓子・製菓業界の現状と課題について理解し考察しプレゼンテーションができる。			○	○				
						③ 自らの製菓観、菓子製造者・経営観を構築できる。				○	○	○		
菓子店経営論	2	○			高橋義弘	① 菓子店を開業する為の必要最低限の事を説明できる。	○	○						
						② 菓子店経営の為に何が必要か説明できる。	○	○	○					
						③ 菓子店経営の為にすべき事を体系的に論じることができる。			○	○	○			
						④ 繁盛店になる為には何をすべきか説明できる。				○	○	○		

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
製菓理論Ⅰ	2	○			岩松秀夫	① 製菓原材料の種類を理解しその内容を説明できる。	○					
						② 菓子の分類を理解し、その内容を説明できる。	○					
						③ 製菓材料の加工適性を理解し、その内容を説明できる。	○					
						④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓理論分野に関する知識を習得し、実践できる。	○		○			
製菓理論Ⅱ	2	○			岩松秀夫	① 製菓原材料の種類を理解しその内容を説明できる。	○					
						② 菓子の分類を理解し、その内容を説明できる。	○					
						③ 製菓材料の加工適性を理解し、その内容を説明できる。	○					
						④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓理論分野に関する知識を習得し、実践できる。	○		○			
製菓理論Ⅲ	2		○		吉田正	① 洋菓子の種類、材料について基本的理論を理解し、その内容を説明できる。	○	○	○	○	○	
						② 菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○	○	○	○	○	
						③ 洋菓子の基本製造を理解し、古典菓子から流行菓子まで説明、表現できる。			○	○		
						④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓理論に関する知識を習得し、理解できる。	○	○	○	○	○	
製菓理論Ⅳ	2		○		岩松秀夫	① 製パンの種類、材料について基本的理論を理解し、その内容を説明できる。	○					
						② パン製造に使用する原料の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○		○			
						③ パンの基本製造を理解し、説明、表現ができる。	○					
						④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓理論「製パン実習」に関する知識を習得し、実践できる。	○		○			
製菓理論Ⅴ	2		○		岩松秀夫	① 和菓子の種類、材料について基本的理論を理解し、その内容を説明できる。	○					
						② 和菓子に使用する原料の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○		○			
						③ 和菓子の基本製造を理解し、説明、表現ができる。	○					
						④ 日本人の五感（視覚、味覚、触覚、臭覚、聴覚）を駆使して、四季それぞれに表現した和菓子の構造を述べることができる。	○				○	
						⑤ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓理論「製パン実習」に関する知識を習得し、実践できる。	○		○			
洋菓子入門	2	○			吉田正	① 洋菓子の種類、使用材料について理解し、その内容を説明できる。	○	○	○	○	○	
						② 菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○	○	○	○	○	
						③ 洋菓子の基本製造を理解し製作できる。	○	○	○	○	○	
						④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓技術を習得する。	○	○	○	○	○	
和菓子入門	2	○			岩松秀夫	① 和菓子の種類、使用材料について理解し、その内容を説明できる。	○					
						② 和菓子を創りだす為の製法や配合を正しく述べることができる。	○	○				
						③ 和菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○		○			
						④ 製菓衛生師養成課程「製菓実習実技試験ガイドライン」の内容で60点以上の成績を修める。	○					
製パン入門	3	○			小島進・ 江刺俊紀	① 製パンに必要な器具／道具の名称を述べることができる。	○					
						② パン製造に使用される原材料の特性と機能を説明できる。	○					
						③ 手仕込みによるパン生地の手込み方法を実施できる。	○	○				
						④ 仕込み・成形・焼成までの製パン製造の一連の流れを実行できる。	○	○				

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
洋菓子専門	2		○			吉田正・加藤信樹	① 洋菓子の種類、使用材料について理解し、その内容を説明できる。	○	○	○	○	○
							② 菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○	○	○	○	○
							③ 洋菓子の基本製造を基に専門的な菓子製作できる。	○	○	○	○	○
							④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓技術を習得する。	○	○	○	○	○
製パン・和菓子専門	4		○			小島進・江刺俊紀・岩松秀夫	① 高度な製パンと和菓子製造を理解して実践できる。	○				○
							② 原材料特性を理解して最適な製造方法を実施できる。	○	○	○		○
							③ 仕込み・成形・焼成までの製パンの製作を実施できる。	○				
							④ 仕込み・成形・完成までの和菓子の製作を実施できる。	○				
洋菓子応用Ⅰ	2		○			吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	① 洋菓子の種類、使用材料について理解し、その内容を説明できる。	○	○	○	○	○
							② 菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○	○	○	○	○
							③ 洋菓子の基本製造を基に専門的な菓子製作できる。	○	○	○	○	○
							④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓技術を習得する。	○	○	○	○	○
							⑤ 造形菓子の取り組みから菓子製作の芸術性を習得する。	○				○
洋菓子応用Ⅱ	2		○			吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	① 洋菓子の種類、使用材料について理解し、その内容を説明できる。	○	○	○	○	○
							② 菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○	○	○	○	○
							③ 洋菓子の基本製造を基に専門的な菓子製作できる。	○	○	○	○	○
							④ 国家試験（製菓衛生師）に必要な製菓技術を習得する。	○	○	○	○	○
							⑤ 造形菓子の取り組みから菓子製作の芸術性を習得する。	○				○
インターンシップ	1		○			吉田正	① 企業・施設での業務活動の実際について理解する。	○				
							② ビジネスマナーの理解と実践ができる。	○			○	○
							③ 企業・施設で基本的な業務が行えるようになる。	○				
							④ 将来の職業について考え、志望先の業界の仕組み、仕事内容を理解する。		○		○	
観光概論	2		○			大森信治郎	① 観光の概念や歴史、現在の制度について理解し、説明することができる。	○		○		
							② 観光と社会のかかわり（経済、地域社会、開発と保護、情報、環境）について理解し、説明することができる。	○	○	○		
							③ 観光を成立させる機制（余暇社会、観光の心理、観光の対象）について理解し、説明することができる。	○	○	○		
							④ 観光を支える社会システムについての理解し、説明することができる。	○	○	○		
観光ビジネス実務総論	2		○			大森信治郎・今野則幸	① 観光関連産業の概要と結びつきを関連づけることができる。	○	○			
							② 国内及び海外地理を理解し、地域の観光を述べることができる。	○	○			
							③ 観光産業に必要なホスピタリティを論じることができる。	○	○	○		
							④ 観光産業と密接な関係にあるホテルについて説明できる。	○				
観光英会話	2	◎	◎	◎	◎	江間ニーナ	① 英語の単語、表現、会話を身につけ、海外での様々な場面で英会話で対応できる。	○		○	○	○
							② 英語の単語、表現、会話を身につけ、訪日外国人と英語のコミュニケーションを行うことができる。	○		○	○	○
							③ 日本人が苦手意識をもちやすい英語の発音について点検し、正しい発音で英会話を行うことができる。	○				○

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
地域観光論	2	○			大森信治郎	① 日本の地理に関する知識を高め、説明することができる。	○	○				
						② 地域ごとの、自然や文化に関する観光資源について理解し、説明することができる。	○	○				
						③ 観光対象（テーマ別）ごとの、観光資源について理解し、説明することができる。	○	○	○			
						④ 旅行業務取扱管理者の国家資格の取得を目指す基礎を作る。	○					
観光ビジネス実務実習	2	○			今野則幸	① 社会人として働くことの意義を説明できる。	○	○	○	○	○	
						② 観光ビジネス各現場業務の実体験を通し、業界の状況を把握することができる。			○	○	○	
						③ 実習を通して、社会人としての基礎の向上を図り、自己の進路決定の指針とすることができる。	○	○	○	○	○	
仙台の歴史と文化	2	○			佐藤和賀子	① 仙台の歴史と文化について理解し、学んだ知識を説明できる。	○					
						② 仙台の歴史と文化を観光資源として関連づけることができる。		○	○			
						③ 仙台の歴史と文化を観光資源の観点からみた時、観光課題を指摘できる。		○				
						④ 仙台の歴史と文化について学んだ知識を基に、観光プランを作成できる。				○	○	
						⑤ 仙台の歴史と文化について理解を深めるために、博物館・美術館・記念館等の機関を活用できる。	○					
旅行業法	2	○			佐藤芳郎	① 旅行業法は各国家試験では必須の科目であるので、それを学ぶことにより、旅行業務取扱管理資格（総合・国内）を取得する。	○					
						② 旅行業法は各国家試験では必須の科目であるので、それを学ぶことにより、旅行サービス手配業務取扱管理者資格を取得する。	○					
						③ 旅行業法は各国家試験では必須の科目であるので、それを学ぶことにより、旅程管理資格（総合・国内）を取得する。	○					
観光関連約款	2	○			大森信治郎	① 「約款」の概念を理解し、その社会的必要性、観光の領域における役割について説明することが出来る。	○	○	○			
						② 観光の領域における主要な約款について、その約款が確立した経緯、社会的背景を理解し、各々の約款についてその特徴を論じることが出来る。	○	○	○			
						③ 各約款について、具体的な条項の内容を理解し、その意図について説明することが出来る。	○	○	○			
						④ 資格試験等の関連で特に重要な「旅行業約款」について、十分な理解に基づいた論考と説明が出来る。	○					
						⑤ この教科の学習を通して、旅行業実務取扱管理者の国家資格の取得を目指す基礎をつくる事が出来る。	○		○			
旅行業実務Ⅰ	2	○			大森信治郎	① JRを中心とした運賃・料金の体系を理解し、旅行業をはじめ多くの観光の領域での運賃、料金、価格を算出することができる。	○	○				
						② 公共性を持った交通機関等の運賃・料金の設定の根拠、法則を理解し、説明することができる。	○	○				
						③ 具体的な旅程を組み立て、その旅程に要する運賃について計算、説明することができる。	○	○	○			
						④ 旅行業務取扱管理者の国家資格の取得を目指す基礎を作る。	○					
旅行業実務Ⅱ	2	○			佐藤清志	① 旅行業に必要な実務知識（海外旅行）の内容を説明できる。	○		○			
						② 国際航空運賃の内容・仕組みを説明できる。					○	
						③ 旅券の取得方法について説明できる。					○	
						④ 出入国手続きの流れを述べる事ができる。					○	
						⑤ 総合旅行業務取扱管理者試験の「海外旅行実務」の科目の内、出入国関係法令・旅行実務を説明できる。				○	○	
韓国語会話実践	2	◎	◎		文慶喆	① 「韓国語入門」で学んだ基礎を基にハングルを「書く」「読む」から「聞く」「話す」に進むことができる。	○	○				
						② 韓国語の簡単な挨拶や自己紹介ができる。					○	
						③ 韓国語の文型をしっかりと理解することができる。				○		
						④ 韓国語の日常会話で良く用いられる基本表現を使い会話ができる。					○	

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
中国語会話実践	2	◎	◎	◎	◎	王軒	① 中国語とはどんな言葉かについて理解でき、概要を説明できる。			○		
							② 中国語の発音要領と声調の特徴を理解し、短母音、複母音、鼻母音と子音の発音ができるようになる。			○		
							③ 中国語の述語文（動詞・形容詞・名詞）の使用について理解する。			○		
							④ 中国語の疑問詞及び疑問文の使用について理解する。			○		
							⑤ 中国語の「過去」を表す構文と「進行」を表す構文について理解する。			○		
							⑥ 中国語の数量表現及び数量を尋ねる疑問詞について理解する。			○		
							⑦ 様態補語、結果補語、方向補語及び可能補語の使用について理解する。			○		
ホテル総論	2	○				今野則幸	① ホテル産業の歴史過程を踏まえ、社会的有用性を説明できる。	○			○	
							② ホテルの組織を理解し、概要を説明できる。			○	○	
							③ ホテル内の各セクションを理解し、実践できる。	○	○	○		
							④ ホテルビジネス実務検定2級資格所得を目指すことにより、ホテル全般を説明できる。	○			○	
テーブルマナー演習	1					高橋見時	① フランス料理・日本料理・中国料理の歴史を理解する。			○		
							② フランス料理のマナー及びセッティングを習得し実践できる。			○		
							③ 日本料理・中国料理のマナーを習得する。				○	
							④ 社会人の基本的常識としての各種パーティーマナーを身につけ実践できる。				○	
ブライダル概論	2					今野則幸	① ブライダルの歴史を理解し、概要を説明できる。	○				
							② 挙式についての知識を習得し、概要を説明できる。	○	○		○	○
							③ 披露宴についての知識を習得し、概要を説明できる。	○	○		○	○
							④ 現在のブライダル市場を理解し、オリジナル・ブライダルを提案できる。	○		○	○	○
							⑤ ブライダル・コーディネーター技能検定資格を目指し、ブライダル全般を説明できる。	○		○		
ブライダル フラワービジネスⅠ	2					山川奈美	① フラワーデザインの歴史を知り、時代背景と共に説明することができる	○	○			
							② 植物に関する知識を理解し、実技に応用することができる		○			○
							③ フラワーデザインの基礎的な技術を学び、実践することができる	○		○	○	○
							④ ブライダルに関する装花の用途や意義などについて理解し、説明することができる	○	○	○	○	○
							⑤ 商業ラッピングにおける基礎知識を学び、実践することができる	○			○	○
							⑥ ブライダルフラワービジネス3級の受検レベルの知識を持ち、応用することができる	○	○	○		○
健康管理概論	2					高間章	① 健康と健康増進の概念について説明し、生活習慣変容の重要性を理解し、説明できる。	○	○	○		
							② わが国の現状と健康づくり施策（第一次健康づくり対策からの歴史の変遷、運動指針）について理解し、説明できる。	○	○	○		
							③ 生活習慣病、メタボリックシンドロームの概念を説明し、運動による予防効果について理解し、説明できる。	○	○	○		
							④ わが国の高齢社会の現状を説明し、介護予防について理解し、説明できる。	○	○	○	○	
							⑤ 運動を始める前のメディカルチェックの重要性や、健診項目の内容と基準値について理解し、説明できる。	○	○	○		

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
運動生理学	2	○		○		高間章	① 筋の構造や収縮特性と代謝特性、それらと運動の関係を説明できる。	○	○					
							② 筋収縮のエネルギー供給機構を説明できる。	○	○					
							③ 筋の収縮様式と筋力との関係、トレーニングによる筋出力増加を説明できる。	○	○					
							④ 運動時の神経系の関わりや、随意運動と反射の違いを説明できる。	○	○					
							⑤ 運動の持続に対する呼吸循環系（心臓、肺、血管系など）の役割を説明できる。	○	○					
							⑥ 発育発達期の身体的特徴、心理的特徴から適切な運動プログラムを提示できる。	○	○					
							⑦ バイオメカニクスの観点から各種の身体運動を説明できる。	○	○					
機能的解剖学	2	○				佐々木秀将	① 全身の骨の機能について述べるができる	○	○					
							② 全身の関節の機能について述べるができる	○	○					
							③ 全身の靭帯の機能について述べるができる			○	○	○		
							④ 全身の筋肉の機能について述べるができる			○	○	○		
スポーツ心理学	2	○		○		金野麻衣	① スポーツ心理学の基礎知識・諸問題について説明できる。	○	○					
							② 自分自身の競技活動や日常生活、また指導の現場における応用方法を説明できる。	○	○					
							③ 運動技能の効果的な習得につながる心理学的要因を説明できる。			○	○			
							④ 身体運動と心身の健康の関わりを説明できる。			○	○			
健康と栄養・食事	2	○		○		岩田教子	① 五大栄養素の種類と主な働きなどの栄養に関する基礎的知識を理解する。	○						
							② 生活習慣病予防と栄養・食生活について理解する。	○						
							③ 体重調整と運動・栄養や女性と栄養障害について理解する。	○						
							④ 食生活全般について改善する方法や対策を考える力を習得する。		○	○				
健康づくりと運動プログラム	2	○		○		高間章	① 健康増進のための運動効果と運動不足が健康に与える影響を理解し、説明できる。	○	○	○				
							② トレーニングの原則と効果について各原則の重要性を説明し、特にオーバーロードの原則にのっとったプログラムについて理解し、説明できる。	○	○	○				
							③ 健康づくりのための運動プログラム作成上のポイント（身体活動ピラミッド）について、運動強度、時間、頻度の観点から理解し、説明できる。	○	○	○				○
							④ 有酸素性作業能力、筋力、平衡性、柔軟性の向上が日常生活にどのような影響を与えるのかを理解し、説明できる。	○	○	○				
トレーニング指導論	2	○				佐々木秀将	① トレーニングの方法や種類を理解し、説明できる。	○	○					
							② ストレッチングの方法や種類を理解し、説明できる。	○	○					
							③ トレーニングの原理、原則について理解し、説明できる。			○	○	○		
トレーニング実習	1	○				佐々木秀将	① 基礎的な筋力トレーニングを実践できる。	○	○					
							② 基礎的なストレッチングを実践できる。	○	○					
							③ 基礎的な筋力トレーニングの方法を教えることができる。			○	○	○		
							④ 基礎的なストレッチングの方法を教えることができる。			○	○	○		
							⑤ 積極的に周囲と関わり、コミュニケーションを取るができる。			○	○	○		
ダンス実技 (エアロビックダンス)	1	○				岡本真紀子	① 健康づくりの運動であるエアロビックダンスの特性を理解し、オリジナルのコリオグラフィーを作成する。	○	○	○				
							② 運動強度を変化させる方法について理解する。	○	○	○				
							③ 仲間とダンスを楽しみ、ダンス発表を行うことでコミュニケーション能力が向上する。			○	○			

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
		1年		2年				○：DP達成のために重要					
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	
水泳・水中運動	1	○		○		及川裕子	① 4泳法と補助法を習得し、実践できる。	○	○	○			
							② 様々な水中運動を確認し、そのプログラミング法を実践できる。				○	○	
							③ 水の特性を理解した泳法、補助法が実践できる。	○	○	○			
							④ 水泳・水中運動の効果を論じることができる。	○	○	○			
バレーボール	1		○		○	佐々木秀将	① バレーボール競技のルールについて説明できる。	○	○				
							② バレーボールの基本技術を実践できる。	○	○				
							③ バレーボールの簡単な技術を教えることができる。				○	○	○
							④ 積極的に周囲と関わり、コミュニケーションを取ることができる。				○	○	○
やさしいダンス実技 (エアロビックダンス)	1	○		○		岡本真紀子	① 健康づくりの運動であるエアロビックダンスの特性について理解する。	○	○	○			
							② 姿勢を改善し、体の適切な使い方を習得する。	○	○	○			
							③ 仲間とダンスを楽しみコミュニケーション能力が向上する。				○	○	
やさしいダンス実技 (よさこい)	1	○		○		及川佳澄	① ダンスの楽しさを感じて、ダンス運動の特性を理解する。	○	○	○			
							② よさこいの基本動作を習得する。	○	○	○			
							③ 習得したよさこい踊りを地域イベントで発表する。	○	○	○		○	
やさしいダンス実技 (ストリートダンス)	1	○		○		及川佳澄	① ダンスの楽しさを感じて、ダンス運動の特性を理解する。	○	○	○			
							② ストリートダンスの基本動作を習得する。	○	○	○			
ダンス実技 (ストリートダンス)	1		○		○	及川佳澄	① ダンスの楽しさを感じて、ダンス運動の特性を理解できる。	○	○	○			
							② ダンスにおける体の使い方、リズムの取り方を習得し、実践できる。	○	○	○			
							③ 自らのイメージを身体を通して具現化し、豊かな表現活動ができる。	○	○	○		○	
							④ ダンス指導に必要な知識、技術を習得し、ダンスを指導できる。	○	○	○			
							⑤ 仲間と協力して、創作したダンスを発表できる。						
スポーツ実技	1	○				渡辺篤史	① スポーツ種目に興味を持ち、種目の特性やルールを説明できる。				○	○	○
							② 各年代の発達課題を理解し、必要な運動経験を説明できる。	○	○				
							③ ジュニアスポーツの指導法を実践できる。	○	○	○			
スノーボード実習	1		集中		集中	高間章・ 及川佳澄	① 安全で楽しくスノーボードを行うための技術・知識を習得し、実践できる。	○	○				
							② グループ実習、共同生活の経験から、社会性やリーダーとして必要な資質や心構えを習得し、実践できる。				○	○	○
							③ ゲレンデにおけるマナー等を学ぶとともに、自然との適切な関わり方を習得し、実践できる。				○	○	○
キッズスポーツクラブ 総合実習	2		○			高間章	① キッズスポーツに関わる団体、企業がどのように成り立っているのかを説明できる。	○	○	○			
							② 基本的なビジネスマナーを習得し、実践できる。					○	○
							③ 幼児、児童に関する知識と基礎的な指導法を習得し、実践できる。	○	○	○			
ピアヘルパー養成講座	2		○			緑川浩子	① カウンセリングの歴史の概略と理論について説明できる。	○					
							② カウンセリングの基本的スキルを身に付け、実践することができる。	○				○	○
							③ 青年期の課題とピアヘルパーの留意点について解説できる。	○					

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP 達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
人間の尊厳と自立	2	○				宇田川佳浩	① 介護福祉教育の基盤をなす人間理解と信頼関係の構築について学び、その概要を説明できる。	○						
							② 尊厳の保持や自立支援がなぜ大切なのか述べることができる。						○	
							③ 尊厳の保持や自立支援のために必要な視点や考え方を持ち、介護実践に活かすことができる。						○	
							④ 介護福祉士として身につけておきたいマナーや接遇を、実施できる。							○
							⑤ 身体拘束廃止や不適切なケアの改善に向けて、組織力を持って対応できる。							○
							⑥ 高齢者虐待や権利擁護についての正しい知識を持ち、介護実践に活かすことができる。						○	
							⑦ 地域包括ケアシステムを担う専門職として、他の専門職や地域住民と連携、協調できる。							○
人間関係とコミュニケーション	2	○				加藤和子	① 情報伝達に必要なコミュニケーションの基礎を理解し、説明できる。	○						
							② 介護実践に必要な人間関係の形成について理解し、説明できる。						○	
							③ 利用者の心身の状況や価値観等を深く理解し、実践につなげることができる。					○		
							④ 信頼関係の形成と他者理解、自己覚知について理解し、実践につなげることができる。							○
生活と福祉	2	○				齋藤美香	① 社会福祉専門職として、人間社会と生活を理解し、社会福祉に関連する知識を学び、自らの社会福祉観を構築する。	○						
							② 社会福祉に関連する社会と組織の基本的な仕組みを理解し、社会福祉専門職として必要な基本的な視点を獲得する。	○						
							③ 人権擁護の視点、職業倫理を身につける。	○						
社会と福祉制度	2	○				宇田川佳浩	① 社会福祉専門職者としての専門性と資質を理解し、その概要を説明できる。	○						
							② 日本の社会保障の基本的な考え方や仕組みを学び、その概略を説明できる。	○	○					
							③ 介護保険制度や障害者自立支援法及び介護実践に関連する諸制度を学び、介護実践に活かすことができる。		○	○				
							④ 地域包括ケアシステムを担う専門職として、他の専門職や地域住民と円滑に連携、協調ができる。				○	○		
							⑤ 制度やシステムの理解と共に、それを運用する組織に必要な要素を考え、組織に貢献できる。				○		○	
							⑥ 税金や保険料を負担する意義や目的について理解し、社会的コストについて正しく測定できる。	○			○			
							⑦ 時代が求める社会福祉専門職としての介護福祉士の在り方を論じることができる。	○					○	
介護概論Ⅰ	2	○				阿部和宏	① 介護の社会化、介護福祉士について説明できる。	○						
							② 介護福祉士の社会的使命について考察できる。	○				○		
							③ 介護実践の基盤となる考え方について考察できる。				○		○	
							④ 生活機能について説明できる。				○			
介護概論Ⅱ	2	○				今野則幸	① ホスピタリティの起源・語源・歴史を理解し、概要を説明できる。	○						
							② ホスピタリティを活用している施設を調べ、内容を比較できる。					○	○	
							③ 日常生活の中で必要な人間関係を論じ、ホスピタリティの必要を述べることができる。	○	○	○				
							④ 自然環境に対し、ホスピタリティの必要性を述べることができる。				○		○	
コミュニケーション技術概論	2	○				佐藤光市	① 援助的コミュニケーションに必要な知識と技能について理解し、説明することができる。	○						
							② 介護福祉士が身につけておくべき基礎的なコミュニケーション技法について理解し、実践につなげることができる。				○	○		○
							③ コミュニケーション障害を抱える利用者への対応の基本を理解し、利用者の状況・状態に応じた対応について説明できる。	○						
							④ 多職種協働におけるコミュニケーションに必要な記録、報告・連絡・相談、会議の在り方について理解し、説明できる。						○	○

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
		1年		2年				○：DP達成のために重要					
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	
福祉住環境論	2	○				野津弘	① 住環境における、福祉的思考力を習得できる。	○	○				
							② 福祉的住まいの建築的理解を深めることができる。	○	○				
							③ 欧米の福祉住環境を理解することができる。	○					
							④ 福祉住環境コーディネーター3級資格に挑戦できる。	○		○			
生活支援技術Ⅰ	2	○				齋藤美香	① 自立支援の観点から介護実践に必要な基本的な技術を実践できる。	○					
							② 声のかけ方・触れ方・体調確認・移動の介護の態度、技術を実践できる。	○					
生活支援技術Ⅱ	2		○			齋藤美香	① 自立支援の観点から介護実践できる基本的な技術・能力を実践できる。	○					
							② 身じたく・食事・排泄介護の態度、技能を実践できる。	○					
生活支援技術Ⅲ	2			○		佐藤京子・ 金澤千晶	① 家庭経営に関する基本的な知識及び基礎的な技能を身に付けることができる。	○	○		○	○	
							② 食に関する基本的な知識及び実践に必要な基礎的な技能を身に付けることができる。	○	○		○	○	
							③ 被服に関する基本的な知識及び基礎的な技能を身に付けることができる。	○	○		○	○	
介護過程Ⅰ	2	◎	◎			東海林初枝・ 阿部和宏	① 介護過程の意義・目的が説明できる	○					
							② アセスメントの必要性・重要性が説明できる。	○					
							③ 介護における課題解決の着眼点を理解し、思考し考察する力を伸ばす。		○	○	○	○	
介護総合演習Ⅰ	2	◎	◎			阿部和宏	① 介護実習の意義・目的、本実習での課題を説明できる。	○					
							② 介護実習に臨む姿勢を自ら整えることができる。	○					
							③ 介護福祉士の役割を自分の言葉で表現できる。		○	○	○	○	
							④ 職業人としての成長していくための自己の課題を明確にすることができる。		○				
							⑤ 自ら学ぶ姿勢及び他者と協力する姿勢を習得する。				○		
介護実習Ⅰ	2	◎	◎			阿部和宏・ 齋藤美香・ 東海林初枝	① 通所介護、障害者支援施設、認知症グループホーム、訪問介護の現場体験を通し、各々のサービスの概要や特性を述べる事ができる	○					
							② サービスを利用する人及び家族の思いや願いを知れるようコミュニケーションすることができる。		○	○			
							③ 各々サービスにおける援助の視点及びチームの一員としての介護福祉士の役割について考察する。		○	○			
生涯発達論Ⅰ	2	○				東海林初枝	① 人の生涯にわたる心の発達について説明できる。	○					
							② 老年期に起る変化を理解し、高齢者の心理に共感的に理解する姿勢を身につける。	○					
生涯発達論Ⅱ	2			○		尾形由美子	① 高齢者の健康状態と疾病の特性について概説できる。	○					
							② 老化による各器官系の機能変化と生活への影響について概説できる。	○					
							③ 高齢者に多くみられる疾患・障害の特徴及び介護上の留意点を概説できる。	○					
認知症の理解Ⅰ	2			○		森本浩史	① 認知症を取り巻く状況について説明できる	○					
							② 認知症の中核となる症状及び随伴するBPSDの特徴について説明できる	○					
							③ 認知症の原因となる主な病気の特徴について説明できる	○					
障害の理解Ⅰ	2			○		高橋壮	① 障害の概念について説明できる。	○					
							② 障害者福祉の基本理念及び支援の基本視点（家族への支援を含む）を列挙できる。	○					
							③ 知的障害、発達障害、精神障害の特性について基本的な説明ができる。	○					

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP 達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
こころとからだのしくみⅠ	2	○				東海林初枝・山本信	① 人間の脳・神経系の構造と働きについて基礎的な説明できる。	○						
こころとからだのしくみⅡ	2	○				東海林初枝	① 呼吸・循環のしくみ、運動器系に関するしくみについて基礎的な説明ができる。	○						
こころとからだのしくみⅢ	2		○			家子敦子	① 身支度、整容行為に関わる心身機能について説明できる。	○						
医療的ケアⅠ	2		○			東海林初枝	① 介護福祉士に託された医療的ケアの意義について説明できる。	○						
							② 安全に医療的ケアを実施する体制について概説できる。	○						
							③ 安全に医療的ケアを実施するための清潔保持・感染予防対策について説明できる。	○						
							④ 経管栄養のしくみを理解し、実施上の留意点を説明できる。	○						
介護初任者研修	6	◎	◎	◎	◎	齋藤美香・今出川武志・東海林初枝・尾形由美子・高橋壮・家子敦子	① 基本的な介護を実践するために最低限必要な知識・技術を理解できる。	○						
							② 介護の実践については、正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術が必要であることを理解できる。	○						
							③ 自立の助長と重度化防止・遅延化のために、介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させるという視点が大切であることを理解できる。	○	○					
							④ 利用者ができるだけなじみのある環境で日常生活を送れるようにするために、利用者一人ひとりに対する生活状況の的確な把握が必要であることを理解できる。	○			○			
							⑤ 他者の生活観及び生活の営み方への共感、相手の立場に立って考えるという姿勢を持つことの大切さについて理解できる。	○	○					○
							⑥ 自立支援に資するサービスを多職種と協働して総合的、計画的に提供できる能力を身に付けることが、自らの将来の到達目標であることを理解できる。	○	○					
							⑦ 利用者本位のサービスを提供するため、チームアプローチの重要性とその一員として業務に従事する際の役割、責務等を理解できる。	○						○
MOS 検定講座 (Word)	1	○				小野寺幸子・杉本くみ子	① 問題文や解説を読み解く力をつけ、求められたことを実践できる。	○	○					
							② 身につけたパソコンスキルを実務に応用できる。	○	○	○				
							③ Microsoft Office Specialist Word2013検定に合格するレベルの操作ができる。				○			
MOS 検定講座 (Excel)	1		○			小野寺幸子・杉本くみ子	① 問題文や解説を読み解く力をつけ、求められたことを実践できる。	○	○					
							② 身につけたパソコンスキルを実務に応用できる。	○	○	○				
							③ Microsoft Office Specialist Excel2013検定に合格するレベルの操作ができる。				○			
国内旅行業務取扱管理者試験講座	2	集中		集中		大森信治郎	① 旅行業法、及び観光関連約款についてその概要を説明することができ、国家試験の解答を導くことができる。	○			○			
							② 国内観光地理の概要を理解し、国家試験の解答を導くことができる。	○	○	○				
							③ JRをはじめとする国内運送の運賃、料金の仕組みを理解し、国家試験の解答を導くことができる。	○	○	○	○			
							④ 旅行業務取扱管理者試験の合格水準の知識を習得し、併せて旅行業における有為な人材として活躍できる基礎を作ることができる。	○	○	○	○			
ミュージックテクニクの基礎	1	○		○		星律子	① 音楽理論の基礎を理解し演奏又は作曲、編曲に応用することが出来る。	○	○	○				
							② 楽譜を読む力を身につけ演奏をすることが出来る。	○	○	○				
							③ 自身で楽譜を制作し詳細を説明することが出来る。	○	○	○				
							④ 基本のコードを理解し演奏に応用することが出来る。	○	○	○				○

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
作詞・作曲の基礎	2		○		○	榑原光裕	① 作詞作曲のノウハウについて述べるができる。	○						
							② 自分自身の心の中の言葉を見つけながら作詞することができる。	○		○				
							③ メッセージの発信、物語の創作の観点から自己表現をもとにした作詞ができる。	○		○				
							④ 心に浮かんだメロディを、PC アプリなどを利用して曲として作品化できる。		○					
							⑤ お互いの自己表現の価値を高めるような相互評価ができる。						○	○
リズムトレーニング	1		○		○	星律子	① アンサンブルを通してお互いの役割を理解しあい実践することが出来る。				○	○	○	
							② 楽譜を読む力を養い瞬時に対応することが出来る。	○		○				
							③ 読譜を通してテンポ感、リズム感、ビート感を養い応用することが出来る。		○	○				
							④ 完成した曲を学内で発表することによって演奏者、聴衆の関係の中で他者との共感を持つことが出来る。	○	○		○	○		
ヴォーカルトレーニング	1		○		○	庄子真理子	① 腹式呼吸で発声できる。	○						
							② 発声するために身体を使うことが出来る。			○				
							③ 発声のために必要な呼吸法ができる。			○				
							④ 基本的な音楽用語を覚え読譜力を身につけ音楽を表現できる。					○		
							⑤ 腹式呼吸での発声で歌・音楽・言葉を表現できる。					○		
バンドアンサンブル	2	◎	◎	◎	◎	那須尚平	① 音楽理論を基に楽器を演奏することができる	○						
							② ポピュラー音楽の歴史的背景を論じることができる		○				○	
							③ アンサンブルの知識やノウハウを習得し総合的な音楽操作ができる	○			○			
							④ イベントや制作業務に携ることにより、積極的に社会との繋がりを持つことができる	○		○	○			
茶道	2	◎	◎	◎	◎	鎌田文恵	① 茶道における初めの一步であり、基本動作でもある「薄茶点前」を行うことができる。	○					○	
							② 利休の教えである「和敬静寂」の理念を説明できる。	○			○	○		
							③ 「利休七則」に則り、一碗を通して相手を思いやり、もてなすことができる。				○	○		
							④ 茶道の歴史から茶器や墨蹟などの諸芸術に対する造詣を考察することができる。		○	○				
							⑤ 閑寂の知見を広め、自己を内省し、実社会へ適用できる。				○	○		
コミックアート (漫画・イラスト)	2	○				阿部明子	① コミックアートへの興味関心を深め、情報収集の必要性を説明できる。	○						
							② 描画ソフトを使用し、作業手順を説明できる。		○	○				
							③ 鉛筆を用いたクロッキー会に参加しモデルと画家両方の役割を担える。				○	○		
							④ プリンタを使用し作品を内外に発表できる。						○	
ボイストレーニング (声優)	2		○			三浦貴子	① 人が声を発する仕組みを理解し、大きく張りのある声が出すことができる。	○			○			
							② 敬語、アクセント等を意識し、正しく美しい日本語を話すことができる。		○					
							③ 日常生活の話し方と、声を仕事にする話し方の違いを理解し、表情豊かに表現ができる。				○	○		
ネットワーク演習	1	集中	集中	集中	集中	永野篤	① コンピューターネットワークの概要について、説明できる。	○						
							② ネットワークを支える技術に関する用語と概念について、関連づけることができる。	○						
							③ スマートフォンやパーソナルコンピューター、家電製品などのネットワークの活用方法を省察できる。		○					
							④ ネットワークの問題点を理解し、安全な運用ができる。		○					

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
図書館実習	1		○			関根俊二	① 司書の業務全般について概要を理解し説明できる。	○	○					
							② 基本的な司書の業務を担当することができる。				○	○	○	
ベーシックゼミ	2			◎	◎	専任教員	① 担当教員の専門および関連する領域について、テーマを設定、調査、探求し、研究成果として作品をつくりあげ、教養を高める。		○					
							② 建学の精神と地域の特性を理解し、主体性・自主性を伸ばし、社会貢献する知見と技術を身に付け、機会に応じて実践する。	○			○	○		
							③ 自身の特徴を理解し、卒業後の方向性について検討し、進路選択を明確にし、自立した社会人・職業人になる。	○	○	○				
キャリアデザインⅢ	1				○	専任教員	① 現代社会の発展を展望しつつ、課題を発見し自らに引き付けて解決していくために前向きに取り組むことができる	○	○					
							② 社会の現在と将来について洞察し、自らのキャリアを能動的に築いていくことができる。	○	○					
							③ 社会人・職業人として適応するための学習を通じて、自らの職業観を涵養してゆくことができる。	○	○					
介護総合演習Ⅱ	2			◎	◎	東海林初枝・阿部和宏	① 介護実習Ⅱ・Ⅲの目的を説明できる。	○						
							② 介護実習に臨む姿勢を自ら整えることができる。	○						
							③ 振り返りを通し自己を成長させる課題の明確化・言語化ができる。		○			○	○	
							④ 介護福祉士に関する知見を深める手段・姿勢を習得する。	○		○				
キャリアデザインⅢ (介護福祉士養成課程)	1				○	半澤秀雄	① 社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について説明できる。	○						
							② 自らの職業観を確立できる。		○					
							③ 就職に必要なマナーを学び、自ら行動する力を構築し、職業人としての道を切り拓く。		○					
コンピュータ会計演習	2				○	畑中恵司	① コンピュータ会計の仕組みを述べることができる。	○						
							② 実践的入力演習により会計実務に対応できる。	○						
							③ 出力帳表(貸借対照表、損益計算書、資金繰り表)から経営分析ができる。	○	○					
オフィススタディ	2				○	富田幸重	① ビジネス実務について深く理解し、実践できる。	○						
							② マナー・接遇について深く理解し、実践できる。	○						
							③ 場面や状況に応じた的確な判断と人間関係に配慮した表現を習得し、適切な行動ができる。							○
							④ ビジネス社会の現状や自己のキャリア形成についての課題を把握し、適切な指針を提示することができる。		○	○	○			
情報環境論	2				○	岩淵正則	① コンピュータの基礎理論を説明できる。	○						
							② コンピュータシステムのデータ表現とデータ構造を説明できる。	○						
							③ コンピュータを構成する論理回路を説明できる。	○						
							④ 中央処理装置(CPU)の機能を説明できる。	○						
							⑤ メモリアーキテクチャの構成について、説明できる。	○						
							⑥ エンベデッドシステムの構成について、説明できる。	○			○			
							⑦ 人工知能(AI)の仕組みについて、説明できる。	○			○			
データベース概論	2				○	大澤栄子	① データベースおよびデータベース管理システムの基本的理論について理解でき、概要を説明できる。	○			○	○		
							② ニーズやデータを分析し、簡単なデータベースを設計できる。	○	○					○
							③ 基本的なデータ操作をSQLで記述できる。	○	○					○
							④ 排他処理やリカバリ処理などデータベースの処理方法が理解でき、説明できる。	○			○	○		

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
コンピュータネットワーク	2				○	丸山穰	① コンピュータネットワークの概要を説明できる。	○	○			
							② ネットワークを支える技術に関する用語を説明できる。	○	○	○		
							③ スマホやPC、家電製品などにおけるネットワークの活用方法を説明できる。	○	○	○		○
							④ 運用上の問題点を理解し、説明できる。	○	○	○	○	
データベース演習	2				○	大澤栄子	① リレーショナルデータベースシステムの知識と技能を習得し、データベースファイルを設計し作成できる。	○	○			○
							② 基本オブジェクトについての知識と技能を習得し、新規作成および編集できる。	○	○			○
							③ オブジェクトの関係を理解し、用途に応じてデータを編集加工できる。	○	○			○
							④ 課題を分析し、解決に必要なデータベースファイルを設計開発できる。	○	○			○
マルチメディア演習 (2DCG)	2				○	渡辺光治	① コンピューターによるマルチメディア演習、実践的2Dソフトを使用することができる。	○				
							② コンピューターによるマルチメディア演習、文章や画像編集ができる。	○				
							③ WEBやDTPの制作ができる。	○				
							④ プレゼンテーション表現でのコミュニケーションツールを活用できる。	○				
プログラミング演習	2				○	大澤栄子	① マクロ/VBAの概要を理解し、開発環境の基本操作ができる。	○				○
							② 変数と制御構造を活用した変数と制御構造を活用したモジュールを作成できる。	○	○			○
							③ 適切な手法を選択したデバッグができる。	○	○			○
							④ ニーズを分析し入力から出力までのデータ活用が設計できる。	○	○	○		○
図書館制度・経営論	2				○	稲雄次	① 図書館制度を理解でき、それを説明できる。					○
							② 図書館経営を理解でき、それを説明できる。					○
							③ 図書館法を理解でき、それを説明できる。					○
							④ 図書館関連法規を理解でき、それを説明できる。					○
							⑤ 図書館と国との役割を理解でき、それを説明できる。					○
							⑥ 図書館と自治体との役割を理解でき、それを説明できる。					○
							⑦ 図書館経営形態を理解し、未来の図書館について構想を提案できる。					○
情報サービス論	2				○	庄子隆弘	① 情報サービスの種類や特徴を挙げて、説明できる。	○				
							② 情報サービスを司書、図書館員の視点で捉えたときに必要な知識、スキルを挙げることができる。	○		○		
							③ レファレンスサービスの理論と実際について説明できる。	○	○			
							④ 情報サービスを経営的視点で捉えたときに必要な知識、スキルを挙げることができる。	○			○	
							⑤ 情報サービスに関わるテクノロジーやツールを挙げて、説明できる。	○				
							⑥ 情報サービスに関する現代の課題や解決案を議論できる。		○		○	○
情報サービス演習	2				○	庄子隆弘	① 情報サービスの意義について、利用者の質問に適切な情報を提供できるための技法やツールを挙げて、説明できる。	○				
							② 情報サービスの中心となるサービスである「レファレンスサービス」について、その技法やツールを挙げて、説明できる。	○				
							③ 図書館情報資源毎の定義と種類を理解し、演習課題に応じた情報を探し、発表することができる。		○		○	
							④ 発信型情報サービスの種類を挙げ、活用及び作成することができる。	○		○		
							⑤ レファレンス共同データベースの事例等を参考にレファレンス記録を作成し、それらを評価することができる。			○		○

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号						
		1年		2年				○：DP 達成のために重要						
		前	後	前	後			1	2	3	4	5		
図書館情報技術論	2				○	川辺博	① 図書館の業務に必要な基礎的な情報通信技術（ICT）を説明できる。	○						
							② OPAC などの資料探索ツールや電子資料のしくみと特性を理解し、活用できる。	○						
							③ ICT の発展に連動した図書館業務の変化を議論できる。			○				
情報資源組織演習	2			◎	◎	早坂信子	① 多様な情報資源に対し、演習により分類記号付与について説明できる。	○	○					
							② 主題からのアプローチを可能とさせるため、件名付与について説明できる。	○	○					
							③ 演習により、情報資源に関する書誌データ作成について説明できる。	○					○	
							④ 公共図書館システムにおける書誌所在情報について、機能とその構造の基本的な説明ができる。				○	○		
							⑤ 社会における新しいメディアの普及と、図書館で扱う情報資源の急速な変化を説明できる。			○	○			
ノンフィクションを読む	2				○	関根俊二	① ビジネス教養、地域理解など、ノンフィクションを通して社会生活に必要な教養情報をもち説明できる。	○	○					
							② 調査の活動を通して培われる自主的な学習力を活用できる。			○	○			
							③ わかりやすい適切な説明で発表が行える。						○	
書き言葉	2				○	大泉浩一	① 「伝わる文章」のポイントを活用することができる。	○		○				
							② 講義時間内に実際に書くことで高い水準の文章が書けるようになる。	○		○				
							③ コミュニケーションや言葉について、深く考察することができる。			○		○	○	
IT時代の表現	2				○	川辺博	① 電子メール、ワープロ、プレゼンテーション・ソフトの特性を理解し、効果的に運用することができる。	○					○	
							② インターネットを利用した情報発信の利点、社会的意義、問題点を指摘し、論じることができる。					○		
							③ メディア・リテラシーの意識を高め、社会（職場）や日常生活のなかで実践できる。					○		
雑誌製作	2				○	大泉浩一	① 企画から完成まで、印刷メディアの作成を体験し、その知識を活用できる。	○		○				
							② 印刷物製作の知識と技術を活用できる。	○		○				
							③ グループ課題の製作を通して高いコミュニケーション能力を発揮できる。			○		○	○	
創作演習	2				○	関根俊二	① 表現行為に自覚的になり、言葉を選び表現することができる。			○			○	
							② 表現する立場からさまざまな作品に触れることで、文学作品の理解が深まり説明できる。						○	
							③ グループ活動を通して円滑なコミュニケーションを実践できる。					○		
公務員試験対策講座Ⅱ (面接実習)	1				○	鳴海渉・ 堀良平	① 自己を分析し、今後の生き方について考えを述べることができる。	○	○				○	
							② 自己の持っている能力を上げることができる。課題発見・解決の能力、コミュニケーション能力、調整能力等を活用できる。	○	○					
							③ グループ討議、集団討論について基礎的な技能を習得し、論じることができる。	○	○			○	○	
							④ 面接技術、会話についての基礎的な技能を習得し、応用することができる。	○	○	○	○			
公務員試験対策講座Ⅵ (実践)	1				○	堀良平・ 星伸之	① 公務員試験に必要な対策について再確認し、効果的な取り組みを進められる。	○	○	○				
							② 公務員試験の主要科目である一般知能科目の要点を理解し、適切な解法ができる。	○	○	○				
							③ 過去問等の実践的な問題に取り組み、応用ができるようになる。	○	○	○				
							④ 就職試験における筆記試験に活用できる知識を把握できる。	○	○	○				

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
薬理学	2			○	渡部成子	① 医薬品とは何かを説明できる	○		○			
						② 医薬品を取扱う上での規則が説明できる。	○		○			
						③ 医薬品の人体への作用を説明できる。	○		○			
						④ 主な疾患に適用される医薬品を挙げて、その薬理作用を説明できる。	○		○			
公衆衛生学	2			○	渡部俊彦	① 健康とは何か説明できる。	○		○			
						② 公衆衛生の現状や人の健康を守る制度について説明できる。	○		○			
						③ 主な疾病の特徴や病因を説明できる。	○		○			
						④ 生活習慣・生活環境と健康との関係について説明できる。	○		○			
医療の外国語 (英・独・ラテン語)	2			○	永野篤	① 医療事務の現場で使用される基本的な外国語について、日本語での表現及びその意味について説明できる。	○					
						② 医療事務の現場で使用される専門的外国語の範囲を把握し、それらの日本語の意味について解説できる。	○					
						③ 医療従事者・クライアントと適切な情報交換ができる。					○	
医療情報演習 (電子カルテ含む)	2			○	横尾由香	① 電子カルテシステムの操作ができる。	○					
						② 医事コンピュータ履修後に電子カルテシステムを学ぶことで、医師事務作業補助者の業務を円滑に遂行するスキルを活用できる。	○					
						③ 医師事務作業補助者技能認定試験に合格できる。	○					
医師事務補助特別講座Ⅱ	2			○	横尾由香	① 医師事務作業補助者として必要な業務スキルを幅広く活用できる。	○		○			
						② 医師事務作業補助技能認定試験に合格できる。	○		○			
医療事務演習Ⅱ	2			○	加藤淳子	① 多くの診療行為の中で、組み合わせにより特殊な計算をする項目の算定ができる。	○					
						② 数多くの問題を解く事で知識と技術の幅を広げることができる。	○					
						③ 診療報酬請求事務の総括作業ができる。	○					
医療事務演習Ⅲ (調剤報酬)	2			○	丸山穰・ 加藤淳子	① 調剤報酬の算定の制度についての知識を活用できる。	○	○	○			
						② 調剤報酬請求明細（レセプト）の作成ができる。	○	○	○			
						③ 調剤薬局における患者対応がスムーズにできるようになる。	○	○	○	○		
医事接遇マナー	2			○	加藤淳子	① 接遇の必要性を学び、身近な問題として理解し応用できる。					○	
						② 一般的な接遇と医療接遇の違いが比較できる。	○					
						③ 医療接遇の必要性を学んだ上で、接遇の技術を実施できる。	○					
						④ 様々な患者様やご家族の立場を理解し、適切な接遇が実施できる。						○
医療事務特別講座Ⅱ	2			○	加藤淳子	① 医学分野と併せて学習する事で、疾病の特徴や治療方法を関連付けることができる。	○					
						② 薬剤と疾病の関係を理解する事で、カルテ内容をより深く理解し関連付けることができる。	○					
						③ 診療報酬請求事務の明細書作成で、正解率を高めることができる。	○					
						④ 多くの資格を取得するために、技術を高めることができる。	○					
クリエイティブデザイン	2			○	金澤千晶	① ファッションショーの構成（企画）を提案し、ショーのテーマに添った衣装のデザインを考え、衣装製作ができる。	○	○				
						② 高度な縫製テクニックや立体裁断など応用し、衣装をイメージ通りに創作することができる。	○	○				
						③ 衣装に合わせたファッションモデルのヘア・メイクのトータルコーディネート提案することができる。		○	○	○	○	○

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
		1年		2年				○：DP 達成のために重要					
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	
ステージショー演出	2				○	金澤千晶	① 衣装に合わせたヘアセット・メイクを他者にすることができる。	○	○	○			
							② ショーのイメージに合わせた映像の製作、音響と照明を検討し、ステージ上で演出することができる。	○	○				
							③ ショーのためのウォーキング方法、ポーズ、ルートを考え、モデルに指示を出し、ショーを作り上げることができる。		○				
食文化論	2				○	梅津裕子	① 食料の確保や世界の3大食法について理解し、その概要を説明できる。	○					
							② 人に移動と食の創造について理解し、その概要を説明できる。	○					
							③ 各国料理の歴史と特長及び料理様式と献立について理解し、その概要を説明できる。	○					
							④ 食文化についてのレポートを作成し、その結果をまとめて発表できる。		○			○	
食環境コーディネーター	2				○	佐藤睦子・ 今野則幸	① 建築的側面から食空間の基礎知識を習得し、実践に応用できる。	○	○			○	○
							② 厨房の語源・歴史・文化を説明することができる。	○					
							③ 各種料理のテーブルマナーを実践することができる。	○		○	○	○	
							④ 国際儀礼（プロトコル）を説明することができる。	○		○	○	○	
							⑤ フードコーディネーター3級資格に必要なレベルの知識を習得し、適用できる。			○	○	○	
フードショップ プランニング	2				○	今野則幸	① 外食産業の歴史を説明できる。	○			○		
							② 日本の外食産業の文化を理解し、概要を説明できる。	○			○		
							③ 飲食店経営に必要なマーケティングを説明できる。	○	○	○	○		
							④ 出店に必要な計数管理を述べるることができる。	○		○		○	
							⑤ フードコーディネーター3級資格に必要なレベルの知識を習得し、適用できる。			○	○	○	
調理方法と調理機器	2				○	前澤正人・ 深見信也・ 吉田正	① フードコーディネーター資格取得に関する専門知識を理解し、その内容を説明できる。	○		○		○	
							② 基本調理技法、知識を体験する事で習得し、実践できる。		○	○	○		
							③ 季節の基本調理方法の実践より 栄養のバランス 食の大切さを習得し、実践できる。		○	○	○		
							④ 調理機器の調理器具の必要な知識と技能を習得し 実践につながる操作ができる。	○	○		○	○	
テーブルコーディネーター	1				○	梅津裕子	① テーブルコーディネーターの基本的理論について理解し、その内容を説明できる。	○					
							② テーブルセッティングについての知識と基礎的な技能を習得し、実践できる。	○					
							③ テーブルフラワーについての知識と基礎的な技能を習得し、実践できる。	○					
							④ テーブルコーディネーターについて習得した知識や技能を活用し、コーディネーターを実践できる。		○			○	
栄養学 A	2				○	梅津裕子	① からだの仕組みと食物の取り込みについて理解し、その概要を説明できる。	○					
							② 栄養素の種類とその働きについて理解し、その概要を説明できる。	○					
							③ からだの働きを支えるエネルギーや栄養摂取の適量について理解し、その概要を説明できる。	○					
							④ 栄養と健康における課題について理解し、改善点を示すことができる。		○			○	
カフェスキル演習	2				○	松尾勲・ 李泰憲・ 兼子美紀弘・ 梅津裕子	① 飲食店、カフェで活用できるメニュー撮影や SNS 発信できる写真撮影方法を実践できる。	○	○				
							② 飲食店、カフェで活用できるチョークアートでの POP 製作を実践できる。	○					
							③ 飲食店インテリアの基本と表現方法について理解して、実践できる。	○			○	○	
							④ 商品を美しく見せるラッピング技術を習得して実践できる。	○				○	
							⑤ 飲食店、カフェの空間デザインを提案できる。	○		○		○	

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
カフェデザート実習	2			○	相良奈津・岩松秀夫	① 和・洋菓子のカフェメニューを提供できる。	○	○	○			
						② 和・洋菓子のカフェメニューの新しい商品を提案できる。		○	○			
						③ 菓子製造を通じておもてなしの心を考え実践できる。		○	○			
カフェドリンク実習Ⅰ	2			○	里館薫・小野寺靖忠・細貝涼哉・吉田正・梅津裕子	① カフェ(珈琲)の生産国事情を知り、生豆原料基礎知識について述べることができる。	○		○			
						② 飲料原料、加工原料への加工工程を説明できる。	○					
						③ カフェの現場で働く為の基本的な知識と技術を実践できる。	○			○		
						④ カフェ(コーヒー)飲用がもたらす効果について論じることができる。		○			○	
						⑤ エスプレッソ、カプチーノ、カフェラテ、紅茶の抽出方法及びオペレーションが実践できる。	○					
カフェドリンク実習Ⅱ	2			○	里館薫・小野寺靖忠・細貝涼哉・吉田正・梅津裕子	① 珈琲の種、生産国、生産方法による風味の違いを論じることができる。	○					
						② コーヒー豆の焙煎を理解して実践できる。	○					
						③ カフェの現場で働く為の専門的な知識と技術を実践できる。	○			○		
						④ カフェ(コーヒー)飲用がもたらす効果及びフードファディズムについて論じることができる。			○		○	
						⑤ エスプレッソ、カプチーノ、カフェラテ、紅茶の高度な抽出方法及びオペレーションが実践できる。	○					
製菓技術Ⅰ	2			○	吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	① 洋菓子の種類、使用材料について理解し、その内容を説明できる。	○	○	○	○	○	
						② 菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が実践できる。	○	○	○	○	○	
						③ 洋菓子分野の専門的技術を駆使した菓子製作ができる。	○	○	○	○	○	
						④ 国家試験(製菓衛生師)に必要な製菓技術を活用できる。	○	○	○	○	○	
						⑤ 造形菓子の取り組みから芸術性の観点をもち菓子製作できる。	○				○	
製菓技術Ⅱ	2			○	吉田正・加藤信樹・高橋義弘・渡辺靖美・夏井泰夫	① 洋菓子の種類、使用材料について理解し、その内容を十分に説明できる。	○	○	○	○	○	
						② 菓子製造に使用する食材の特性を理解して安心安全な商品製造が十分に実践できる。	○	○	○	○	○	
						③ 洋菓子分野の専門的技術を駆使した菓子製作を完成できる。	○	○	○	○	○	
						④ 国家試験(製菓衛生師)に必要な製菓技術を十分に活用できる。	○	○	○	○	○	
						⑤ 造形菓子の取り組みから芸術性の観点をもち菓子製作を完成できる。	○				○	
製菓学外実習Ⅰ	2			○	吉田正	① 職業人として社会に貢献できる専門知識と技術を習得する。	○	○	○	○	○	
						② グループで協力しながら作業する事により、他社とのコミュニケーションを図れるようにする。		○	○	○	○	
						③ 企画・生産・流通・販売までの流れを理解して実践できる。	○	○	○			
						④ ビジネスマネジメント能力を身に付ける。	○	○	○	○	○	
製菓学外実習Ⅱ	2			○	吉田正	① 職業人として社会に貢献できる専門知識と技術を習得する。	○	○	○	○	○	
						② グループで協力しながら作業する事により、他社とのコミュニケーションを図れるようにする。		○	○	○	○	
						③ 企画・生産・流通・販売までの流れを理解して実践できる。	○	○	○			
						④ ビジネスマネジメント能力を身に付ける。	○	○	○	○	○	

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
		1年		2年				○：DP達成のために重要					
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	
観光事業論	2				○	大森信治郎	① 観光概念や歴史、基本となる関連用語や関連分野の概要について説明することができ、発展的に応用することができる。	○		○			
							② マーケティングマネジメントの基本を理解し、観光の分野に援用して説明することができる。	○	○	○			
							③ 観光事業の各分野の概要を理解し、各分野の特徴、現況、展望について説明することができる。	○	○	○	○		
							④ 観光事業を取り巻くグローバルな状況と、地域にとっての役割について理解し、説明することができる。	○	○	○	○		
観光ガイドトレーニング	2				○	佐藤清志	① 時刻表にある地図を使って、時刻表を読み取ることができる。	○	○	○			
							② 観光素材について説明することができる。	○			○		
							③ C.I.Q.の流れを説明することができる。	○					
							④ 付加価値のあるサービスについて理解できる。				○	○	
ブライダル実務	2				○	今野則幸	① 挙式・披露宴で求められる行動を実践できる。	○	○				
							② ブライダル関連商品を説明できる。				○	○	
							③ オリジナル・ウェディングを考え、実践できる。	○	○	○	○	○	
ゲストサービス演習	1				○	高橋見時	① ホスピタリティマインド豊かな社会人として基礎的マナーを身につけることができる。					○	
							② 接客サービスの対応の基本を身につけることができる。					○	
							③ 接客マナーの基本を習得できる。				○		
							④ 「サービスマインド」と「セールスマインド」を理解することができる					○	
ブライダル フラワービジネスⅡ	2				○	山川奈美	① 1年生で習得した知識・技術を確認し、更に発展させることができる。	○	○				○
							② ブライダルフラワービジネス検定2級レベルの知識を身につけ、応用することができる。	○	○	○		○	
							③ フラワーデザインとブライダルの関わりを知り、プランニングまでを行うことができる。	○	○	○	○	○	
							④ ブライダルの装花に関する知識を用いて、他者に説明することができる。	○	○	○	○	○	
							⑤ 商業ラッピング検定3級受検レベルの技術を持って作業を行うことができる。	○	○	○	○	○	
運動障害と救急法	2				○	佐々木秀将・ 橋本実	① 運動に関連する外傷、障害について理解し、説明できる。	○	○	○			
							② 発育発達段階における外傷、障害について理解し、説明できる。	○	○	○			
							③ 各外傷、障害についての応急処置を学び、実践できる。	○	○	○			
体力測定と評価	2				○	高間章・ 及川佳澄	① 有酸素性および無酸素性体力を表す指標とその測定法を理解させ、それらのフィールド・テストについての測定ができる。	○	○	○			
							② 体脂肪量の測定原理および測定方法（皮脂厚法、生体電気インピーダンス法など）を理解し、測定ができる。	○	○	○			
							③ 新体力テストの各項目と体力要素との関連を理解し、実際に測定・評価ができる。	○	○	○		○	
							④ 体力テストの結果評価方法（基本的な統計量（統計値）、体力プロフィールの作成方法など）を理解し、健康・体力づくりやトレーニングに活用できる。	○	○	○			
フィットネス実技指導法	2				◎	渋谷祐子・ 高間章	① 安全で効果的な運動プログラムを作成する。	○	○				
							② フィットネス指導の理論、指導者の心構えを習得する。	○	○	○			
							③ フィットネス指導に必要な指導法を習得する。	○	○	○			
							④ 履修者や地域の方への実技指導を通してコミュニケーション能力を向上させる。				○	○	
ダンス実技演習Ⅰ	1				○	高間章・ 及川佳澄	① ダンス運動の特性を理解し、ダンスの基礎的な動作を習得する。	○	○				
							② ダンス指導を通してコミュニケーション能力を高める。				○	○	
							③ ダンス指導に必要な知識、技術を習得し、ダンスを指導できる。	○	○	○			

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP 達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
ダンス実技演習Ⅱ	1				○	高間章・ 及川佳澄	① ダンス運動の特性を理解し、ダンスの基礎的な動作を習得する。	○	○			
							② ダンス指導を通してコミュニケーション能力を高める。			○	○	○
							③ ダンス指導に必要な知識、技術を習得し、ダンスを指導できる。	○	○	○		
							④ ダンスの振付を習得し、グループで協力して学内で発表する。				○	○
スポーツ指導論Ⅰ	2			○	佐々木秀将	① スポーツ指導の基礎的知識と指導法を理解し、説明できる。	○	○				
						② 目的に応じた多様なニーズに対応するスポーツ指導を理解し、説明できる。			○	○	○	
						③ 個々が理想とする指導者像を獲得する。			○	○	○	
スポーツ指導論Ⅱ	2			○	佐々木秀将	① スポーツの安全管理について理解し、説明できる。	○	○				
						② 競技力向上のための指導法、マネジメントについて理解し、説明できる。			○	○	○	
						③ 競技者に対して、目的に応じたスポーツ指導を理解し、実践できる。			○	○	○	
介護概論Ⅲ	2			○	今出川武志	① ケアマネジメントについて説明できる。	○					
						② 介護保険制度、障害者総合支援法における介護・障害福祉サービスの種類・特性について説明できる。	○					
						③ チームアプローチの意義を理解し、チームにける介護福祉士の役割について考察できる。	○			○		
						④ 他（多）職種の機能と役割を理解し、連携のあり方について考察できる。	○			○		
介護概論Ⅳ	2			○	雫石理枝	① 職業倫理と実践とを関連づけられ、介護を受ける対象の人権を尊重する倫理的姿勢・対応について適用することができる。		○				
						② 介護実践過程におけるリスクマネジメントを応用できる。					○	
						③ 介護従事者の心身の健康管理や安全を維持する考え方と方法を一般化することができる。	○					
リハビリテーション概論	2			◎	◎	小林武・ 都竹誠・ 府中勝博	① 自立に向けた介護支援として、リハビリテーションの理念を理解しリハビリテーション専門職の役割と連携について理解し説明できる。	○			○	
							② 障がいの捉え方及び介護支援の方法について理解し、在宅、施設及び病院における生活機能の向上や介護予防の取り組みについて理解し説明できる。	○		○		
アクティビティ概論	2			◎	◎	阿部和宏	① アクティビティ・サービスという観点から要介護者の心身と生活の活性化とはどういうことかを理解できる	○				
							② 心豊かに生きる意味、支援者の役割について説明できる	○			○	
コミュニケーション 技術演習	1			◎	◎	阿部和宏	① 障害に応じたコミュニケーションの特性が説明できる	○				
							② 障害特性に応じたコミュニケーション技法の基本が実践できる	○	○			○
							③ 介護におけるグループでのコミュニケーション（集団援助技術）の意義・目的を説明できる	○			○	
							④ グループでのコミュニケーション技法の基本が実践できる	○			○	
生活支援技術Ⅳ	2			◎	◎	齋藤美香	① 失禁が及ぼす心身、生活への影響を理解し、自立に向けた介護のあり方と技法を実践できる。	○				
							② 入浴の生理を踏まえ、自立に向けた介護のあり方、安全安楽な介護技術を実践できる。	○				
							③ 各障害の特性・心身の状況に応じた日常介護のポイントを説明できる。	○				
							④ 安眠を支援するケアのあり方について説明できる。	○				
							⑤ 終末期における介護者の姿勢・緩和ケアの実際・他職種との連携について説明できる。	○				

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号					
		1年		2年				○：DP達成のために重要					
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	
生活支援技術Ⅴ	1				○	芳賀正明	① 高齢者や障害者の方にスキンケア・メイクアップの知識を正しく理解し、説明できる。	○					
							② スキンケア・メイクアップ商品の使用目的を理解し、説明できる。	○					
							③ 高齢者や障害者に対し、スキンケア・メイクアップテクニックを実践できる。	○		○			
							④ メイクアップをリハビリやアクティビティ活動と結び付け支援に実践できる。	○	○	○	○	○	
介護過程Ⅱ	2			◎	◎	阿部和宏	① 介護過程の展開能力（見聞きする力、考える力、表現する力）を高めることができる。	○					
							② 根拠に基づくケアの実践の重要性について自分の言葉で説明できる。	○					
							③ チームケアに必要なコミュニケーション能力を高めることができる。		○	○	○	○	
介護過程Ⅲ	1				○	東海林初枝・阿部和宏	① 介護過程の意義・目的、一連のプロセスが説明できる	○					
							② 事例報告の意義・目的が説明できる。	○					
							③ 介護実践に対する研究的視点が身につく。		○	○	○	○	
介護実習Ⅱ	4				○	阿部和宏・東海林初枝・齋藤美香	① 実習施設のサービス内容、利用者の概況を説明できる。	○					
							② 利用者といき人間関係が形成できる。	○					
							③ 利用者理解のための観察、情報収集が能動的にできる。	○	○				
							④ 生活課題を明確にするアセスメント力が身につけることができる。	○	○				
介護実習Ⅲ	4				○	阿部和宏・東海林初枝・齋藤美香	① 利用者といき人間関係を形成、維持する力を身につけることができる。	○					
							② 利用者理解のための観察、情報収集を意図的・能動的にできる力を身につけることができる。	○	○				
							③ 生活課題を明確にし、介護計画の立案、実施、評価といった一連の介護過程を展開する力を身につけることができる。	○	○				
認知症の理解Ⅱ	2			◎	◎	森本浩史	① 認知症ケアの基本理念・原則について説明できる。	○					
							② 認知症がある人の日常生活の支援のあり方が説明できる。	○					
							③ 認知症の人を取り巻く環境整備の意義が説明できる。	○					
							④ 認知症施策の概要が説明できる。	○					
障害の理解Ⅱ	2				○	尾形由美子	① 各種内部障害の特性と障害が生活に及ぼす影響について説明できる。	○					
							② 精神障害の特性と生活に及ぼす影響について説明できる。	○					
							③ 難病の特性と生活に及ぼす影響について説明できる。	○					
こころとからだのしくみⅣ	2				○	家子敦子	① 排泄、入浴・清潔保持、睡眠に関わる心身機能について説明できる。	○					
							② 機能低下・障害が排泄、入浴・清潔保持、睡眠に及ぼす影響について説明できる。	○					
							③ 人生の最終段階におけるこころとからだの変化について説明できる。	○					
医療的ケアⅡ	4			◎	◎	東海林初枝	① 消化器・呼吸器のしくみと働きについて説明できる。	○					
							② 医療的ケア実施上の留意点、利用者や家族への配慮について説明できる。	○					
							③ 生じうる危険、急変・事故発生時のと事前対策が説明できる。	○					
							④ 経管栄養の実施手順・喀痰吸引の実施手順が説明できる。	○					
医療的ケア演習	1			◎	◎	東海林初枝	① 経管栄養（胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養）をシュミレーターを用いて一人で実施できる。	○		○			
							② 喀痰の吸引（口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部）をシュミレーターを用いて一人で実施できる。	○		○			
							③ 救急蘇生法の基礎を身につけることができる。	○		○			

キャリア開発総合学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号				
		1年		2年				○：DP達成のために重要				
		前	後	前	後			1	2	3	4	5
病院実習	1			○		丸山穰・ 加藤淳子	① 医療機関での実習を通して医事接遇、医療事務の一日の流れを実践できる。	○		○		
							② 医療事務で学んだ知識を実習を通して立体的に説明できる。	○	○			○

保育学科 専門教育科目

『学習成果』

- 保育者に必要とされる専門的知識と基礎的な技能を習得し、実践につなげることができる。
- 保育者の社会的役割を自覚し、豊かな感性や想像力、表現力をもって、子どもの理解や支援ができる。
- 幅広く教養を身につけ保育者及び社会人として、地域社会で活用することができる。
- 保育者及び社会人として、必要なコミュニケーション能力を有し、自ら主体的、積極的行動がとれる。
- 他者と協調する心、協働する力を持ち、地域社会でいかすことができる。
- 自己の課題を客観的に見出し、解決に向け学び続けることができる。

【保育学科 専門教育科目】

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
保育原理	2		○			上村裕樹	51
教育の制度と原理	2	○				佐藤哲也・井本佳宏	51
子ども家庭福祉	2		○			菅田賢治	51
社会福祉	2	○				上村裕樹	51
社会的養護Ⅰ	2	○				菅田賢治	51
保育者論	2	○				上村裕樹	52
保育の心理学	2	○				山本信	52
子ども家庭支援の心理学	2		○			加藤和子・飯島典子	52
子どもの保健	2		○			下山田鮎美	52
子どもの食と栄養	2	○				岩田教子	52
保育・教育課程論	2		○			中島恵・宮本美和子	52
保育内容指導法「健康」	1		○			石森真由子	52
保育内容指導法「人間関係」	1		○			加藤和子	53
保育内容指導法「環境」	1		○			小野真喜子	53
保育内容指導法「言葉」	1		○			山本信	53
保育内容指導法「表現（音楽）」	1		○			佐藤万利子・岩淵摂子	53
保育内容指導法「表現（造形）」	1		○			佐々木貴弘	53
幼児と健康	1	○				石森真由子	53
幼児と人間関係	1	○				加藤和子	53
幼児と環境	1	○				飯島典子	53
幼児と言葉	1	○				飯島典子	54
幼児と表現	1	○				佐々木貴弘・佐藤万利子	54
乳児保育Ⅰ	2	○				中島恵	54
乳児保育Ⅱ	1		○			中島恵	54
特別支援教育・保育概論	2		○			川崎聡大	54
保育実習指導ⅠA（1年）	1	◎	◎			佐々木貴弘・中島恵・山本信・宮本美和子	54
保育内容の理解と方法	2		○			小野真喜子	54
ピアノⅠ	1	◎	◎			佐藤万利子・岩淵摂子他	54
子どもと音楽	2	◎	◎			佐藤万利子・岩淵摂子・松原優子	55
子どもと造形あそび	2	○				佐々木貴弘	55
子どもと運動あそび	2	○				石森真由子	55
教育方法	2		○			佐藤哲也	55

科目名	単位数	開講期				担当者	ページ
		1年		2年			
		前	後	前	後		
教育相談	1		○			佐藤誠子	55
教育実習事前事後指導Ⅰ	1	◎	◎			石森真由子・上村裕樹	55
相談援助	1			○		加藤和子	55
保育の心理学Ⅱ	1				○	山本信	55
子どもの保健Ⅱ	1			◎	◎	木村昭代	56
子どもの食と栄養Ⅱ	1				○	梅津裕子	56
家庭支援論	2				○	佐藤由美子・小山里織	56
社会的養護内容	1				○	山崎剛	56
保育相談支援	1				○	加藤和子	56
保育内容A	2				○	石森真由子・上村裕樹・岩淵摂子	56
保育内容B	2				○	加藤和子・佐々木貴弘・佐藤万利子	56
保育内容C	2				○	小野真喜子・中島恵・山本信・宮本美和子	56
ピアノⅡ	1			◎	◎	佐藤万利子・岩淵摂子・他	57
声楽Ⅱ	1			◎	◎	松原優子・今野清子	57
器楽アンサンブルⅠ	1				○	松村万里子	57
器楽アンサンブルⅡ	1				○	木島由美子	57
図画工作Ⅱ	1				○	佐々木貴弘	57
図画工作Ⅲ	1				○	伊藤純子	57
幼児体育Ⅲ	1				○	柴田卓	58
保育実習Ⅰ	4			◎	◎	専任教員	58
保育実習指導Ⅰ	2			◎	◎	専任教員	58
保育実習Ⅱ	2			◎	◎	佐々木貴弘・中島恵・山本信	58
保育実習指導Ⅱ	1			◎	◎	佐々木貴弘・中島恵・山本信	58
保育実習Ⅲ	2				○	加藤和子・佐藤万利子・岩淵摂子	58
保育実習指導Ⅲ	1				○	加藤和子・佐藤万利子・岩淵摂子	58
保育・教職実践演習（幼稚園）	2				○	加藤和子・中島恵	59
総合演習	1				集中	石森真由子	59
保育学講座	1				○	佐々木貴弘・岩淵摂子・宮本美和子	59
国語	2				○	関根俊二	59
生活	2				○	加藤和子	59
教育実習事前事後指導Ⅱ	1			◎	◎	石森真由子・上村裕樹	59
教育実習	4				○	石森真由子・上村裕樹	59

【保育学科 専門教育科目】

ディプロマ・ポリシー	1. 〈知識・理解〉 乳幼児期から児童・青年期までの深い子ども理解に関する専門的知識を習得している。
	2. 〈知識・理解〉 専門領域に隣接する知識を有している。
	3. 〈思考・判断〉 保育・教育の「心・知識・技術」を総合的に考察することができる。
	4. 〈思考・判断〉 保育・教育のこれからの見据えながら、子どもの成長と発達を支援するあり方を考察し創造していくことができる。
	5. 〈関心・意欲〉 自らの課題を追求し、実践力を高めることができる。
	6. 〈態度〉 子どもの人格形成に携わる保育者としての自覚をもち、他者と協働し社会に貢献する態度を有している。
	7. 〈技能・表現〉 他者の声に耳を傾け、自分の考えを伝えることができる。
	8. 〈技能・表現〉 子どもの主体的な活動を援助するために必要な確かな基礎技術を身につけている。

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
		1年		2年				○：DP 達成のために重要									
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8		
保育原理	2	○			上村裕樹	① 保育の今日的な役割について社会状況を踏まえた上で、適切に説明、報告することができる。	○	○	○	○					○		
						② 保育の意義について、自らの学習に基づき、相互インタビューを通して、互いに学び合うことができる。	○				○	○	○				
						③ 保育所保育指針について、協同学習を通して主体的に学び、保育の場面や子どもの姿に応じた適切な解釈を説明、報告することができる。	○	○	○	○							○
						④ 保育の目標や方法について、自らの学習に基づき、GW での対話を通して、具体的な子どもや保育者の姿を説明、報告することができる。	○	○		○	○	○	○	○	○		
						⑤ 現在の保育の理念を説明できるとともに、それらの理念を基に、これからの保育の課題について、その解決に向けた提案ができる。	○	○	○	○						○	○
教育の制度と原理	2	○			佐藤哲也・井本佳宏	① 教育の基本概念を身につけ、教育に関する歴史及び指導についての基礎知識と多様な教育の理念や実際の教育及び学校とを関連付けて説明できる。	○	○	○								
						② 社会状況が学校教育に与える影響と課題、それに対応した教育政策の動向について説明できる。	○	○	○								
						③ 保育施設と地域との連携や協働、学校の管理下での危機管理を含む学校安全の目的と取り組みに参加できる。	○	○	○								
子ども家庭福祉	2	○			菅田賢治	① 児童福祉の意義と歴史を学び児童の権利とその価値を獲得する。	○										
						② 児童と家庭を取り巻く課題それらに対する施策や福祉制度を学ぶ。			○								
						③ 児童福祉法をはじめとして、その他の法制度についても理解する。	○										
社会福祉	2	○			上村裕樹	① 社会福祉の歴史的展開や法制度などについて理解し、適切に説明・報告する事ができる。	○	○							○	○	
						② 社会福祉の理念や原理を理解し、現在の社会福祉サービスについて、説明することができる。	○	○		○				○	○		
						③ 社会福祉の対象を理解し、その対象者の背景や状況を踏まえた上で、対象者が抱える課題とその解決策について説明・報告することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
						④ 社会福祉の働きを理解し、社会福祉の役割や意義について、自ら積極的に説明することができる。	○	○	○	○	○					○	○
						⑤ 社会福祉の課題について自ら考えることができると共に、その解決に向けた提案を対話型学習において、提案する事ができる。		○	○	○	○					○	
社会的養護 I	2	○			菅田賢治	① 社会的養護とは何か、現状と今後の課題を理解する。	○										
						② 社会的養護を必要とする子どもについて考察を深める。			○								
						③ 自立支援計画について理解する。	○										
						④ アセスメントやプランニングできる力を身につける。										○	

保育学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
		1年		2年				○：DP達成のために重要								
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8	
保育者論	2	○			上村裕樹	① 子どもを取り巻く現在社会の状況について理解し、幼児教育や保育、保育士の必要性と役割について説明できる。	○		○	○				○		
						② 保育者の専門職としての業務について理解し、職務内容及び服務内容について説明できる。	○			○		○	○			
						③ 少子化・経済状況・教育課題・家庭の養育力などの面から現在の社会状況について理解し、その中で必要とされる保育者の役割について説明できる。	○	○		○	○			○		
						④ 求められる保育者としての理想像や資質能力について理解し、保育者の専門性を向上させることの意義について説明できる。	○	○	○	○				○	○	○
						⑤ 保育者の専門性を向上させるために必要な保育者自らの取り組みについて理解し、保育者を目指す受講生自らの取り組むべき学習や、期待される役割について理解し、自らの働き方のイメージを持ち、具体的な保育場を想定し、自ら説明することができる。			○	○	○	○	○	○	○	○
保育の心理学	2	○			山本信	① 子どもの発達について理解し、保育・教育における発達理解の意義について説明できる。	○	○								
						② 運動・言語・認知・社会性・感情など領域ごとの発達メカニズムとプロセスについて理解し、想定された保育場面における具体的な子どもの姿と関連付けて説明できる。	○		○							
						③ 子どもの学習の原理について理解し、子どもの主体的な学習に必要とされる保育者の姿勢・能力について考察し、説明できる。	○				○					
						④ 子どもの学びと遊びとの関連について理解・考察し、具体的な保育場面における保育者の役割について説明できる。			○	○						
						⑤ 特別な配慮を必要とする子どもの特徴について理解し、子どもを取り巻く現在社会の状況とともに、保育現場においてどのような支援が行われているかについて説明できる。	○				○					
子ども家庭支援の心理学	2	○			加藤和子・飯島典子	① 乳幼児期から老年期を通じた生涯発達に関する知識と発達課題を理解し、説明することができる。	○									
						② 家族機能、親となること、親子関係の発達の意味を理解するとともに、現代的課題の視点をもつことができる。		○								
						③ 家族における現代的課題を解決する支援について理解し、説明することができる。		○								
						④ 家族の良好な構築を目指す支援のあり方を考察することができる。			○	○						
						⑤ 子どもの精神保健に関する知識とその課題について理解し、説明することができる。	○	○								
子どもの保健	2	○			下山田鮎美	① 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義について説明できる。		○		○						
						② 子どもの身体的な発育・発達と保健について説明できる。	○			○						
						③ 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について説明できる。	○			○						
						④ 子どもの疾病の予防方法と適切な対応について説明できる。	○			○						
						⑤ 子どもの健やかな育ちを支援する多職種間の連携・協働について説明できる。		○		○		○				
子どもの食と栄養	2	○			岩田教子	① 栄養に関する基本的知識を理解し、その内容を説明できる。		○								
						② 子どもの発育・発達と食生活について関連づけることができる。	○			○				○		
						③ 食育の重要性について理解し、実践につなげることができる。				○		○	○	○		
						④ 食生活全般について改善する方法や対策を考える力を習得し、実践できる。					○					
保育・教育課程論	2	○			中島恵・宮本美和子	① 幼稚園教育要領・保育所保育指針の性格及び位置づけを説明できる。	○	○								
						② 教育・保育課程編成の目的や基本原理を理解し、保育目標に沿った指導計画の構想の仕方を身につけている。	○	○	○	○				○		
						③ 幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂の変遷及び改訂内容を理解している。	○	○								
						④ カリキュラムマネジメントの意義や重要性和評価の基礎的な考え方を理解している。					○	○	○			
保育内容指導法「健康」	1	○			石森真由子	① 領域「健康」のねらい及び内容を理解し、小学校への接続を視野に乳幼児に向けた指導法について考えることができる。	○			○						
						② 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場を想定した保育を構想する方法を身に付ける。		○		○	○	○	○	○		
						③ 領域「健康」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育構想の向上や改善に取り組むことができる。	○		○	○				○	○	

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
		1年		2年				○：DP達成のために重要											
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8				
保育内容指導法 「人間関係」	1		○			加藤和子	① 領域「人間関係」のねらい及び内容と全体構造を説明することができる。	○	○										
							② 領域「人間関係」のねらい及び内容を踏まえ、子どもが発達の過程で経験し身につけていく内容と指導上の留意点を説明できる。	○										○	
							③ 教材研究（情報機器及び教材の活用を含む）や環境の重要性を理解し、具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。			○	○								
							④ 模擬保育やロールプレイとその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につけている。								○	○	○	○	
保育内容指導法 「環境」	1		○			小野真喜子	① 子どもの生活における領域「環境」について理解する。	○	○										
							② 保育実施に向けての保育構想と指導案についてグループで作成することができる。							○		○			
							③ 指導案に基づいた模擬保育の実施により指導計画の課題にグループでの討議を行い気づくことができる。			○	○	○	○	○					
							④ 指導計画の課題に基づき、新たな実践へ向けての指導計画案を作成することができる。			○	○	○	○	○	○				
							⑤ グループでの指導計画作成を基に、一人一人が指導案の作成を行うことができる。	○	○							○		○	
保育内容指導法 「言葉」	1		○			山本信	① 領域「言葉」のねらいと内容を他の領域と関連づけながら説明することができる。	○	○										
							② 言葉とコミュニケーションおよび思考の発達過程と乳幼児期に必要な経験について理解し、保育構想に活用することができる。	○		○								○	
							③ 生活や遊びを通じた乳幼児の育ちを援助するための技能および教材の活用方法について学び、他者と協働しながら実践的な指導案を作成することができる。			○								○	
							④ 保育の評価方法と改善（カリキュラムマネジメント）について理解した上で、保育の計画や指導案の作成をすることができる。						○	○					
							⑤ 領域「言葉」に関する現代的課題や保育実践の動向を踏まえ、保育の質の向上に必要な保育者の専門性について説明することができる。		○		○	○	○						
保育内容指導法 「表現（音楽）」	1		○			佐藤万利子・ 岩淵摂子	① 子どもの発達と音楽的表現の発達を理解し、説明できる。	○		○									
							② 生活や遊びの中での子供の音楽的表現を理解し指導することができる。		○		○							○	
							③ 『幼稚園教育要領』領域「表現」のねらいと内容と『保育所保育指針』子どもの発達と保育の内容を理解して、指導や支援ができる。		○									○	
							④ 子どもの発達に合わせた音楽的表現遊びの具体的な指導計画作成と実践ができる。						○	○	○				
保育内容指導法 「表現（造形）」	1		○			佐々木貴弘	① 領域「表現」の意義と、保育者としての表現活動への指導法や関わり方を理解する。	○	○	○									
							② 表現活動を中心活動とした、教材研究、指導案作成、活動内容や場の設定ができる。		○	○	○								
							③ 表現活動における学び、気づきを促す保育者の役割、指導援助を考える事ができる。			○	○								
							④ 振り返りを通して、保育実践、地域実践への展開法、評価、発達理解について考えることができる。				○								
幼児と健康	1		○			石森真由子	① 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を説明できる。	○		○	○					○			
							② 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成について関連付けることができる。	○	○		○			○	○	○			
							③ 安全な生活と怪我や病気の予防について説明できる。		○									○	
							④ 乳幼児期の運動発達の特徴と意義について理解し、実践に活かそうとすることができる。		○				○	○				○	
幼児と人間関係	1		○			加藤和子	① 子どもを取り巻く人間関係の現代的特徴と課題について説明できる。	○	○	○	○								
							② 乳児期に育つ人と関わる力の発達について、身近な大人との関係から説明できる。	○											
							③ 幼児期の遊びや生活の中で育つ人と関わる力の発達について説明できる。	○											
							④ 自立心、協同性、道徳性・規範意識の育ちについて発達の姿と合わせて説明できる。	○											
幼児と環境	1		○			飯島典子	① 子どもを取り巻くさまざまな環境の特徴と、子どもの発達におけるそれらの意義について理解している。	○	○	○	○						○		
							② 子どもの環境に対する見方・考え方と現代的課題について説明できる。	○	○	○	○							○	
							③ 子どもの身近な環境との関わりにおける思考・科学的概念などの認知発達について説明できる。	○	○	○	○							○	
							④ 子どもの表象の発達とその身近な環境との関わりにおける活用について説明できる。	○	○	○	○							○	

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
		1年		2年				○：DP達成のために重要										
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8			
幼児と言葉	1	○				飯島典子	① 子どもにとっての言葉の機能と意義について説明できる。	○	○	○	○							
							② 子どもの言語の発達過程をその機能と関連付けて説明できる。	○	○	○	○							
							③ 子どもの言葉の育ちと保育実践とを関連づけて理解している。	○	○	○	○	○						○
							④ 子どもの豊かな言葉を育む児童文化財等の基礎的知識を身に付けている。	○	○	○	○	○						○
幼児と表現	1	○				佐々木貴弘・ 佐藤万利子	① 領域「表現」のねらいや内容と合わせ、乳幼児の表現活動の特徴・特質を理解する。	○										
							② 基本的な保育表現技術の習得を通して、自身の感性を高める。		○	○								○
							③ 表現（音楽・造形）あそびの意義と特徴や、用具、楽器等の扱い方について学ぶ。				○	○				○		
							④ 各種表現活動を通して、領域「表現」と他領域との関連について理解を深める。								○	○		
乳児保育Ⅰ	2	○				中島恵	① 健やかな成長を支える生活と遊びについて理解し、3歳未満児及び幼児の発育・発達について説明できる。	○	○									
							② 乳幼児の生命を守ること、健康の保持増進について説明できる。	○	○									
							③ 乳児保育の内容や方法、環境構成や記録等について理解し、意義について説明できる。	○	○	○	○							
							④ 他機関との連携、保護者支援について理解し主体的に考えることができる。								○	○	○	
乳児保育Ⅱ	1		○			中島恵	① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方を理解し、援助の実践ができる。			○	○			○			○	
							② 養護及び教育の一体性を踏まえ、子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について説明できる。	○	○	○	○							
							③ 乳児保育における配慮の実際について具体的に述べるができる。	○	○	○	○							○
							④ 乳児保育における計画の作成について具体的に学び、指導計画や個別計画の一部を作成できる。	○	○			○						○
特別支援教育・保育概論	2		○			川崎聡大	① 保育の場における特別な配慮、支援の多様性について説明できる。	○	○	○	○	○	○					
							② 保育の場で出会う特別な配慮を必要とする子ども（発達障がいを含む）の発達特徴・発達過程について説明できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
							③ 発達課題に応じた個別の支援計画を立案するための基礎的知識を有し、計画の策定ができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
							④ 個別の支援計画を実行するための連携による保育の展開方法について説明できる。	○	○	○	○	○						○
保育実習指導ⅠA (1年)	1	◎	◎			佐々木貴弘・ 中島恵・ 山本信・ 宮本美和子	① 保育実習の意義・目的を理解できる。									○		
							② 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にできる。		○						○			
							③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解できる。										○	
							④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解できる。											○
							⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にできる。				○	○	○					
保育内容の理解と方法	2		○			小野真喜子	① 幼稚園、保育園、認定子ども園の保育の流れについて子どもの発達段階をもとに理解する。	○	○	○	○							
							② 子どもの心身発達、気持ちを理解し評価することが出来る。			○	○							
							③ 保育観に基づいた、子ども達への働きかけ、言葉かけ、興味づけなどを具体的に理解する。	○	○				○	○	○	○		
ピアノⅠ	1	◎	◎			佐藤万利子・ 岩淵摂子他	① 基礎的なピアノのテクニックを習得し、人前での演奏を実践できる。		○			○					○	
							② 初見視奏、コード奏法など保育現場で応用できるピアノ独奏及び伴奏技能を高め、実践できる。		○				○					○
							③ 基本的な音楽理論を理解し、五線譜の読譜ができる。		○				○					○
							④ ピアノによる子どもの歌の弾き歌いの技能を習得し、実践できる。		○	○		○						○

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
		1年		2年				○：DP達成のために重要											
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8				
子どもと音楽	2	◎	◎			佐藤万利子・ 岩淵撰子・ 松原優子	① 音楽の基礎理論を理解し、幼児の前で表現することができる。		○								○		
							② コードネームを理解し、簡単な伴奏付けができる。		○										
							③ 呼吸法と発声法を身につけ、歌詞の内容に適した歌唱表現ができる。								○				
							④ 童謡や幼児のうたにおいて、歌うことやピアノを弾く表現活動ができるようになる。								○				○
子どもと造形あそび	2	○				佐々木貴弘	① 乳幼児の造形活動の基礎技術と知識を身に付ける。	○	○										
							② 乳幼児の造形表現の発達と特質を理解し、共感を持って援助できる。			○	○							○	
							③ 造形活動を、安全かつ安心してできる環境を整えることができる。				○								○
							④ 造形表現を通して得る製作実感を共有し、体験的に保育内容について関連領域の知識を考察できる。				○	○			○	○			
子どもと運動あそび	2	○				石森真由子	① 乳幼児の運動発達や健康をとりまく現状をふまえ、運動遊びの意味や意義、内容を理解する。	○	○						○				
							② 身体を動かすことの楽しさや面白さをはじめ、達成感や自己肯定感、社会性の発達について体験を通して理解を深める。			○	○	○	○						
							③ 発達段階をふまえ、遊具・用具等を活用し創意工夫しながら取り組むことができる。			○		○						○	
							④ 指導・援助する際の配慮や準備の重要性を理解するとともに課題を見出し考察することができる。								○		○	○	
教育方法	2		○			佐藤哲也	① これからの社会を担う子どもに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法、教育の技術、活用に関する基礎的な知識・技能を身につけて、実践に活用できる。	○	○	○	○						○		
							② 情報機器を活用した効果的な授業や適切な教材の作成方法について説明できる。	○	○	○	○								○
教育相談	1		○			佐藤誠子	① 教育相談の意義と理論を理解し、説明することができる。				○								
							② 教育相談を進める際に必要となる基礎的な知識を身につけ、実践で使うことができる。	○		○								○	
							③ 教育相談の組織的な取り組みや連携の必要性について説明することができる。										○	○	
教育実習事前事後指導Ⅰ	1	◎	◎			石森真由子・ 上村裕樹	① 教育実習の意義・目的・内容を理解し、取り組むことができる。	○		○									
							② 教育実習生として遵守すべき義務や責任を理解し、子どもの遊びと心身の発達について理解を深め、幼稚園・認定こども園の教育活動に意欲的に参加することができる。		○		○		○					○	
							③ 自らの実習で得られた知識と経験を振り返り、学習の新たな目標・課題を明確にできる。				○	○					○		
相談援助	1			○		加藤和子	① 相談援助の形成過程について社会福祉の歴史と関連づけて説明できる。		○										
							② 相談援助の理論、意義、機能について理解し、保育ニーズの多様化、保育とソーシャルワークを関連づけて説明できる。		○	○	○								
							③ 相談援助の方法と技術について理解し、基本的技能を習得し、実践につなげることができる。			○		○					○	○	
							④ 相談援助の具体的展開について理解し、計画・記録・評価の技能を実践につなげることができる。		○										
							⑤ 相談援助場面における他機関との連携、社会資源の活用、調整について説明できる。										○		
保育の心理学Ⅱ	1			○		山本信	① 子どもの生活・遊び、環境との関連から子どもを理解することの意義を説明できる。	○	○						○				
							② 発達および学びのアセスメントに関する原理を理解し、保育者の役割について述べることができる。	○		○		○							
							③ アセスメント結果から、子どもの課題の背景を捉え、仮説を立てることができる。			○	○							○	
							④ 子ども自身、クラス集団、環境、保育体制など多様な支援のあり方について理解し、具体的な支援の方法を挙げるることができる。	○			○							○	
							⑤ 子ども理解に基づいた保育目標、全体的な計画を立案する視点を身につけ、子どもの姿に合わせた計画の立案について討議できる。		○	○		○					○		

保育学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
		1年		2年				○：DP達成のために重要											
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8				
子どもの保健Ⅱ	1			◎	◎	木村昭代	① 保育における保健的観点の踏まえた保育環境や援助について理解し、説明することができる。	○											
							② 保育における健康及び安全管理について具体的に理解し、説明することができる。											○	
							③ 子どもの体調不良等に対して適切に対応するための方法について説明できる。	○											
							④ 保育における感染症対策について具体的に理解し、実践することができる。	○											
							⑤ 健康及び安全管理の実施体制について具体的に理解し、適切な保健活動ができる。										○		
子どもの食と栄養Ⅱ	1				○	梅津裕子	① 小児期における食生活の意義について理解し、その概要を説明できる。	○											
							② 小児期における栄養に関する基本的知識を身につけ、その概要を説明できる。	○											
							③ 調理についての基礎的な技能を身につけ、実践できる。	○										○	
家庭支援論	2				○	佐藤由美子・ 小山里織	① 現代社会において、何故、社会的に子育て支援・家族支援体制が必要になったのか、その背景を説明できる。	○			○								
							② 現代社会において、実際にどのような社会的子育て支援・家族支援が行われているのかを説明できる。				○		○						
							③ 専門職としての在り方を実践的に学び、現場での子育て支援・家族支援の取り組みについて説明できる。		○									○	
社会的養護内容	1				○	山崎剛	① 社会的養護について、定義、具体的内容、現状、課題、これからのあり方について説明できる。				○								
							② 子どもの権利擁護、子どもの発達の特徴、児童虐待の影響などについて論じることができる。	○								○			
							③ 社会的養護児童の特徴を理解し、児童福祉施設に入所している児童に対する適切な対応を説明できる。	○									○	○	
							④ 社会的援助技術の内容や方法、ケアマネジメントの理論や方法など説明できる。		○										
							⑤ 事例検討の話し合いにおいて、参加し、討議ができるようになる。											○	
							⑥ 児童福祉施設における保育士の資質や倫理について述べることができる。			○		○							
保育相談支援	1				○	加藤和子	① 障害を持つ子どもの保護者や、経済問題を抱える保護者、孤立する保護者など、支援の対象となる保護者を理解し、保育相談支援の意義について説明できる。	○			○								
							② 保育相談支援の基本となる「子ども・子育て支援新制度」や地域の社会資源の活用や関係機関等の連携・協力について説明できる。		○							○			
							③ 保育相談支援の方法を理解し、基本となる技術を習得して実践につなげることができる。									○		○	
							④ 事例検討を通して保育所・施設における保育相談支援の実践を学び、対応について説明できる。											○	
保育内容 A	2				○	石森真由子・ 上村裕樹・ 岩淵慎子	① 領域の総合化を具体的に理解した上で、子どもの遊びが主体的なプロセスの中で工夫されるために必要な環境を構成するための準備ができる。	○		○	○								
							② 年齢・発達に応じた遊びの在り方と適切な援助方法を理解し、計画することができる。	○			○								
							③ 心動かされる体験やさまざまな刺激から、豊かな感性や想像力、表現力が養われるような遊びを構築するための準備ができる。					○							
							④ 模擬保育の実践とレポートにより自ら創造した保育を説明するとともに、課題を見出し再計画することができる。								○		○		
							⑤ グループワークによる模擬保育の実践、作成物のプレゼンテーションを通して、保育者に必要とされる協働性を高め、実践的な保育計画を立案することができる。										○	○	
保育内容 B	2				○	加藤和子・ 佐々木貴弘・ 佐藤万利子	① 自らが遊びこむことを通して、「遊び」の意味を理解し、説明できる。	○											
							② 「遊び」こむ実体験の中から、保育内容の5領域の意義を理解し、説明できる。		○										
							③ 「遊び」における表現と伝えあいを、保育5領域の総合化を通して理解し、実践できる。			○									
							④ 幼児の発達・成長を考えながら「遊び」を発展させていく力を獲得できる。				○	○						○	
保育内容 C	2				○	小野真喜子・ 中島恵・ 山本信・ 宮本美和子	① 伝承遊びと子どもの発達段階との関係を理解し説明することができる。	○		○	○	○			○				
							② 遊びの伝承性について理解し、その為に必要な環境について実践から理解し説明することができる。	○	○			○			○		○	○	
							③ 遊びにおける表現と伝えあいを5領域の総合化を通して理解し説明することができる。		○	○		○					○		
							④ 適切な援助方法や学びの連続性を理解し保育を展開できる。	○	○	○	○	○	○					○	

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
		1年		2年				○：DP達成のために重要												
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8					
ピアノⅡ	1			◎	◎	佐藤万利子・ 岩淵撰子・ 他	① 習得した基礎的なピアノのテクニックをさらに向上させ、豊かな表現力をもってピアノ演奏ができる。		○				○				○			
							② 初見視奏、コード奏法など保育現場で応用できるピアノ独奏及び伴奏技能を高め、実践できる。		○				○					○		
							③ 基本的な音楽理論を理解し、簡単な曲を初見で演奏できる。		○				○					○		
							④ 子どもを前にして、楽しく弾き歌いを実践できる。		○				○					○		
声楽Ⅱ	1			◎	◎	松原優子・ 今野清子	① 正しい呼吸法を実践できる。											○		
							② 発声法を充実させ、伸び伸びと歌えるようになる。												○	
							③ 歌曲の歌詞を理解し、歌曲の内容に相応しい歌唱表現ができるようになる。									○				
							④ 簡単なピアノ伴奏や弾き歌いができるようになる。												○	
							⑤ 歌を歌う事、ピアノを弾く事から音楽表現の楽しさを子供達に伝えることができるようになる。												○	
							⑥ 童謡のレパートリーを広げることができる。									○				
器楽アンサンブルⅠ	1			○		松村万里子	① 打楽器・ハンドベル・チャイム等の演奏法を習得し、アンサンブルをすることが出来る。		○				○					○		
							② アンサンブルを経験することでお互いの役割を理解し、子ども達の前で表現できる。		○										○	
							③ 簡単な歌にハンドベルで伴奏付けをしながら音楽の技術を高め、実践できる。													○
							④ 音色の美しさ、演奏の易しさ、簡単な楽器の条件を満たしながら音楽を表現する喜びを味わわせることに重点をおいた指導法を計画することができる。		○											○
							⑤ 地域や子ども達の前で演奏し、主体的積極的に行動できる。													○
							⑥ 身体を使い楽しく表現し子どもとボディ・パーカッションで音楽を楽しむ活動を計画することができる。													○
器楽アンサンブルⅡ	1			○		木島由美子	① 任意の楽器を使ってアンサンブルすることができる。			○				○						
							② 子どもの歌の器楽アンサンブルを完成させ、発表することができる。			○		○	○	○						
							③ 簡単な編曲をすることができる。		○										○	
							④ 適切な手順でアンサンブルを完成することができる。									○	○	○		
図画工作Ⅱ	1			○		佐々木貴弘	① 立体の造形あそびに関する基本的な造形方法論を理解し、自分の表現活動を行うことができる。	○	○	○										
							② 保育者として必要とされる造形表現について理解し、創造性や感性を豊かにする表現活動の在り方を考え、実際の製作に活かすことができる。		○	○	○									
							③ 保育現場で多用される教材、素材に触れ、その特性を理解し、自分の保育実践において製作活動に活用していくことができる。				○									
							④ 子どもの発達や成長に即した造形表現活動を基に、保育と地域活動への展開や可能性を探り、表現活動の内容を具体的に考えることができる。													
図画工作Ⅲ	1			○		伊藤純子	① 人間の発達と造形の関係、美術史との照応から理解する。子供の描画の発達と表現の特徴を知り指導法について説明できる。	○	○		○							○		
							② 五感や身体感覚と造形遊びの関連を踏まえた保育実践の計画ができる。	○	○	○	○								○	
							③ 子どもの絵の意味を理解し共感して関わる事ができる。絵の苦手な子供の指導方法について説明できる。	○			○			○	○					
							④ 季節、行事、場所、人数、年齢など条件に応じたテーマで、造形遊びを構成することができる。		○	○									○	
							⑤ 色彩、形、素材のメタモルフォーゼを制作の体験を通して自己の造形力を高め、表現することができる。									○			○	
							⑥ 自然素材とプラスチック素材の造形の違いと育まれる感性の違いについて比較、考察できる。	○	○		○	○	○							
							⑦ 作品の評価にとらわれず、制作の過程を重視し、制作することができる。			○	○	○						○	○	

保育学科 専門教育科目

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
		1年		2年				○：DP達成のために重要										
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8			
幼児体育Ⅲ	1				○	柴田卓	① 北欧諸国の保育と自然保育の仕組みについて説明できる。	○	○	○	○	○						
							② 日本の子どもを取り巻く現状を理解し、自然保育や野外教育の意義について説明できる。		○	○	○	○						
							③ 自然の魅力を活かした保育技術を計画することができる。								○	○	○	○
							④ 自然保育・野外教育を指導・展開するための方法について説明することができる。								○	○	○	○
保育実習Ⅰ	4			◎	◎	専任教員	① 保育所や福祉施設の役割や機能を理解し、記述することができる。	○	○									
							② 観察や子どもや利用者との関わりを通して理解を深め、考察できる。	○	○	○	○			○	○	○		
							③ 既習の学習を踏まえ、子どもや利用者及び保護者への支援について総合的に説明できる。	○	○	○								
							④ 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解し、計画の部分的な立案を実践する。							○				○
							⑤ 保育士の業務内容や職業倫理について理解し、行動できる。										○	○
保育実習指導Ⅰ	2			◎	◎	専任教員	① 保育実習の意義・目的を理解し、説明できる。									○		
							② 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にできる。		○			○						
							③ 実習施設における人権と、守秘義務等について理解し、実践できる。										○	
							④ 観察、記録の方法や内容について具体的に理解し、実践につなげることができる。											○
							⑤ 実習の事後指導を通して、新たな課題や学習目標を明確にし、実践につなげることができる。			○	○	○						
保育実習Ⅱ	2			◎	◎	佐々木貴弘・ 中島恵・ 山本信	① 保育所実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ中で、これまで得た知識や技能を関連づけることができる。			○						○		
							② 実習や既習の教科の内容を、子どもの姿を予測し仮説を立てながら保育実践に応用することができる。							○	○			○
							③ 観察、記録および自己評価等を踏まえた保育の改善について、具体的な事例を通して学び、一般化することができる。			○	○	○						
							④ 保育士の専門性と職業倫理について理解を深め、保育者として必要な具体的な配慮や態度・姿勢について論じることができる。	○	○	○						○		
							⑤ 実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にした上で、他者と討議することができる。									○	○	
保育実習指導Ⅱ	1			◎	◎	佐々木貴弘・ 中島恵・ 山本信	① 総合的に保育を考え、これまで得た知識や経験と関連づけながら、保育実習の意義と目的について論じることができる。			○	○			○				
							② 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について、実習への見通しを持ちながら、また、実習後の振り返りを行いながら具体的に説明することができる。	○	○	○								○
							③ 保育の記録や自己評価を踏まえ、保育の改善について実践を通して考え、他者と討議することができる。			○		○					○	
							④ 保育士の専門性と職業倫理について理解を深め、保育者として必要な具体的な配慮や態度・姿勢について論じることができる。										○	
							⑤ 実習の総括と自己評価から、新たな課題や学習目標を明確にし、自らの言葉で表現・説明することができる。					○	○					
保育実習Ⅲ	2				○	加藤和子・ 佐藤万利子・ 岩淵摂子	① 施設実習の意義と目的を理解し、支援について総合的に学ぶ中で、これまで得た知識や技能を関連づけることができる。			○							○	
							② 実習や既習の教科の内容や関連性を踏まえて理解し、実践に応用することができる。								○			○
							③ 観察、記録および自己評価等を踏まえて、具体的な事例を通して学び、実践につなげることができる。			○	○	○						
							④ 保育士の専門性と職業倫理について理解を深め、保育者として必要な具体的な配慮や態度・姿勢について論じることができる。	○	○	○						○	○	
							⑤ 実習の総括と自己評価を行い、実習の中で課題や認識を明確にした上で、解決に向けて学び続けることができる。									○	○	
保育実習指導Ⅲ	1				○	加藤和子・ 佐藤万利子・ 岩淵摂子	① 保育実習の意義・目的を理解し、その内容を説明することができる。	○										
							② 実習の内容を理解し、自らの実習課題を明確にすることができる。								○			
							③ 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務について理解し、それらを考慮した行動がとれる。	○									○	
							④ 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について理解し、実践できる。		○	○								
							⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確に表現することができる。									○		

科目名	単位数	開講期				担当者	専門的学習成果	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
		1年		2年				○：DP達成のために重要										
		前	後	前	後			1	2	3	4	5	6	7	8			
保育・教職実践演習 (幼稚園)	2				○	加藤和子・ 中島恵	① 履修カルテやこれまでの学習の振り返りを通じて自らの課題を見つけ、解決していく力を身に付け、実践することができる。			○	○	○						
							② これまで学んだ保育に関する学習を総合化し、保育実践力を身に付け、他者と共同しながら実践発表ができる。	○	○	○					○	○		
							③ コミュニケーション力や対人関係の人的総合力を高め、グループ活動や保育実践ができる。								○	○		
							④ 事例研究を通して保育に関する知識と理解を深め保育者としての資質向上を図ることができる。	○	○	○	○							
総合演習	1				集中	石森真由子	① 教材や保育方法の研究を体験的に学び、環境構成および保育実践方法について考えることができる。	○			○	○					○	
							② 指導案作成を立案するとともに具体的な保育内容と関連づけながら保育を展開することができる。		○	○		○					○	
							③ 保育者の連携、同僚性について考え、実践的に取り組むことができる。					○	○	○				
保育学講座	1				○	佐々木貴弘・ 岩淵摂子・ 宮本美和子	① 幅広い教養を身に付け、将来の保育者としての自覚を高め、自らの資質を振り返り考察することができる。							○				
							② 幼児教育、保育及び児童福祉などの様々な専門知識を、講演や講話から学び、実践につなげることができる。	○	○								○	
							③ 講演や講話からの学びを自分の中で整理し、文章にまとめることができる。					○		○	○			
国語	2				○	関根俊二	① 国語科の特質と意義について理解を深め、説明することができる。	○				○						
							② 幼児教育における領域「言葉」指導法と国語科の関連性を説明することができるようになる。	○								○	○	
							③ 国語科との接続をねらいとした指導計画と言語活動を探求することができる。	○				○		○	○			
生活	2				○	加藤和子	① 生活科の特質と意義について理解し、説明できる。		○					○				
							② 幼児教育におけるアプローチカリキュラムの重要性と生活科の関連性を説明できる。	○		○								
							③ 生活科の実際について理解し、説明できる。		○									
							④ 環境教育と生活科の実際を、事例やフィールドワークをもとに理解し、保育実践につなげることができる。	○			○						○	
教育実習事前事後指導Ⅱ	1				◎◎	石森真由子・ 上村裕樹	① 教育実習の意義や目的について理解し、教育実習生として遵守すべき義務やその責任について説明できる。	○	○	○	○	○	○				○	
							② 教育実習の実習内容を理解し、その実践のために必要な知識や技術の習得に向けて、自ら積極的に取り組み、その成果を報告することができる。	○	○			○	○	○				
							③ 実習で得られた知識と経験を振り返ることができ、具体的に説明・報告することができる。			○		○		○				
							④ 実習で得られた知識と経験を振り返りを通し、自らの学習について、新たな目標や課題を具体的に設定することができる。				○	○	○				○	
							⑤ 自らが設定した目標や課題の達成に向けて、学習のプロセスについて自ら計画することができる。			○	○	○						○
教育実習	4				○	石森真由子・ 上村裕樹	① 保育者としての業務や、学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解し、説明することができる。	○		○		○	○	○				
							② 実習活動での様々な場面において、自身の保育活動を客観的に評価しながら、幼児と適切に関わることができる。	○	○	○		○	○	○	○			
							③ 保育形態や保育展開、環境構成の仕組みを实地に即して理解することができ、実習生として保育活動に取り組むことができる。	○	○		○	○	○	○	○	○		
							④ 幼児の体験との関係を考慮しながら適切な場面で学習理解に向けた情報機器を用いることができる。	○	○		○				○	○		
							⑤ 実習における自らの課題を振り返り、翌日以降の保育活動に適切に活かすことができる。	○			○	○	○				○	